

蔵王第2処理分区

2 0 2 6 年 度

福 山 市 伊 勢 丘 四 丁 目 及 び 伊 勢 丘 六 丁 目 地 内

円 形 管 埋 設 工 事 (流 関 8 - 2 4) 実 施 設 計 書

路線名: 伊勢丘大門1号線		
L=	90.0	m
W=	5.60~7.30	m
A=	319	m ²

工 事 概 要	当 初			
	工事延長	90.0	m	
	管渠工(開削)管径200mm	65.8	m	
	管渠工(圧送)管径75mm	90.0	m	
	円形2号レジンマンホール工	1	箇所	
	円形1号マンホール工	4	箇所	
	取付管工	2	箇所	
	立坑工	1	箇所	
	付帯工	1	式	

特 記 仕 様 書

第1章 総則

第1節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局工務部管路整備課の発注する工事に適用する。

第2節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市建設工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-〔(公社)日本下水道協会）」、「広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行い、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第3条に基づき、契約締結後14日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降40日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第3節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等については、監督員に協議をし確認を求めること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

第4節 主任（監理）技術者の配置等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等
専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。
①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
②工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。
④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間
2. 主任（監理）技術者の変更の特例
次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。
①技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき
②受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき
③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点
なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

第2章 施工

第1節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

第2節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設設置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大ききとすること。

ご協力をお願いします

下水道工事を
行っています

〇〇年〇月〇日まで
時間帯 〇:〇~〇:〇

内形建設株式会社 (〇〇〇〇-〇〇)

施工者 〇〇〇〇建設株式会社
電話 〇〇〇-〇〇〇〇
代表者 〇〇〇〇
福山市上下水道局管轄路線
電話 〇〇〇-〇〇〇〇

発注者 福山市上下水道局管轄路線
電話 〇〇〇-〇〇〇〇

新しい路上工事看板（工事中看板）

何の工事を何の目的で実施しているかをわかりやすく示す「工事内容」を表示します

「工事期間」は、一目でわかるように、終了日のみを表示し、枠囲みや大きな文字で強調します

工事内容を簡潔に説明した「工事説明」を表示します

〇〇年〇月〇日頃から
〇〇年〇月〇日頃まで

下水道工事
を予定しています

内形建設株式会社 (〇〇〇〇-〇)

施工者 〇〇〇〇建設株式会社
電話 〇〇〇-〇〇〇〇
代表者 〇〇〇〇
福山市上下水道局管轄路線
電話 〇〇〇-〇〇〇〇

（工事情報看板）

ご協力をお願いします

〇〇年〇月〇日まで

下水道工事を
行っています

内形建設株式会社 (〇〇〇〇-〇)

施工者 〇〇〇〇建設株式会社
電話 〇〇〇-〇〇〇〇
代表者 〇〇〇〇
福山市上下水道局管轄路線
電話 〇〇〇-〇〇〇〇

（工事説明看板）

まわり道 300m

100m先下水道工事につき
まわり道をお願いください

〇〇年〇月〇日～〇月〇日
時間帯 〇:〇〇～〇:〇〇

福山市上下水道局管轄路線
電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

（まわり道案内表示板）

第3節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行うこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当日標準作業量から必要人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。また、工事実績の交通誘導警備員が減少となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Aとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員Bとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Aを誘導日あたり1名以上配置すること。

第4節 管路及びマンホール

1. 下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－1〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
2. 下水道用鉄筋コンクリート製円形マンホールは、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
3. 下水道用鑄鉄製マンホールふたは、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（標準）仕様書」、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（高性能）仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－4〕（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鑄鉄製マンホールふたの施工上の留意事項」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
4. 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホールは、JSWAS〔K－9〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料2〕「硬質塩化ビニル製小型マンホールの施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
5. 下水道用鑄鉄製防護ふたは、「福山市型鑄鉄製防護ふた仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－3〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「鑄鉄製防護ふた施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
6. 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
7. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管は、JSWAS〔A－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「管の取り扱い及び管路の構成」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
8. 下水道用ポリエチレン管は、JSWAS〔K－14〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
9. 下水道用レジンコンクリート製マンホールは、JSWAS〔K－10〕（日本下水道協会）規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔K－10〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

第5節 配管従事者

1. 配管従事者は、福山市ホームページに掲載している「配水管等工事施工時における有資格者の施工義務付けについて」による有資格者であること。
2. 配管従事者は、資格証を常時携帯し、監督員より提示を求められた場合は提示すること。

第6節 現場管理

1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。なお、運搬機械からの直接投入は行わず、機械投入とすること。
3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予想されるときは、速やかに監督員に協議すること。
5. 小黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黒板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員に提出すること。

第7節 地下埋設物

1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。
2. 必要に応じて試掘を実施し、その位置を確認すること。また、当該管理者との協議及び試掘の結果を発注者に提出すること。

第8節 環境対策

1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後3年間保存すること。
3. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
5. 広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）『1-1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第3次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第8節 工事用地

1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

第3章 材料

第1節 埋戻材（処理土）

1. 本工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。以下同じ。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
2. 1）より使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について協議すること。
3. 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
4. 工事完了時には、伝票及び試験結果等を提出すること。
5. 処理土は、次の要求品質を満足したものを監督員の確認を得て使用すること。

判定指標	基準値
最大粒径	50mm以下
コーン指数	800KN/㎡以上

第4章 建設副産物

第1節 建設発生土

1. 本工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的積を含む。）のいずれかに搬出するものとする。
また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的積を含む。）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的積を含む。）への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

第2節 建設汚泥

1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行うこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第4節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出
建設発生土について、500m³以上（一時的な積場については500m³/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第3条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時的な積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）
建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2,000m²以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

第5節 産業廃棄物の場外保管

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 再生資源利用計画

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。あわせて、500m³以上の土砂を工事現場から搬出する場合には、「再生資源利用促進計画の作成に伴う確認結果票」について作成と現場掲示すること。

第5章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
 - （1）補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - （2）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行うこと。

施 工 条 件 表

対象工事名 : 円形管埋設工事（流関8-24）

① 計画準備関係

項目	事 項	該 当	内 容			
	施工計画書等の提出	☒ あ り ☐ な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。			
		☒ あ り ☐ な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。			
	変更図面の作成	☒ あ り ☐ な し	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。			
	取付ますの設置	☒ あ り ☐ な し	取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。 なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。			
	誓約書の提出	☒ あ り ☐ な し	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。			
	協議	☒ あ り ☐ な し	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。			
			関係機関	事項	協議の内容	備考
			関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など	
			沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態	
			その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明	
段階確認	☒ あ り ☐ な し	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。				
情報共有システム	☐ あ り ☒ な し	設計金額3，500万円以上の工事は、原則として情報共有システムを利用する。				

1/8

項目	事 項	該 当	内 容				
② 工 程 関 係	工事期間	☉ あ り ○ な し	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし４０日間を、検査期間は１４日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。				
			☒ 準備期間	☒ 本工事施工期間	☒ 建物等調査期間	☒ 変更協議期間	☐
			☒ 後片付け期間	☒ 検査期間	☐ 水道管移設期間	☐ ガス管移設期間	☐
	関連する別途工事	○ あ り ☉ な し	本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。				
			関連工事の名称	発注者名	予定期間	備考	
	制約条件	☉ あ り ○ な し	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。				
			場所 全体	制約の要因 円滑な交通の確保	制約の内容 施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。	備考	
	○ あ り ☉ な し						
③ 用 地 関 係	借地	○ あ り ☉ な し	次のとおり、借地を見込んでいる。				
			場所	目的	面積	使用後の処置	備考
	工事用地	○ あ り ☉ な し	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。				
			場所	面積	協議内容	完了見込時期	備考
		○ あ り ☉ な し					

2/8

項目	事 項	該 当		内 容		
④ 周辺環境保全関係	建設公害の処置	●	あり	○	なし	騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。
						項目 処理方法 備考
						建設機械（全般） 排ガス対策型の使用
	建物等の調査	●	あり	○	なし	一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。
						調査内容 調査項目 数量 備考
						建物等調査 事前調査 2 件 発注者の調査
	井戸の調査及びその他の調査等	○	あり	●	なし	一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。
						調査内容 調査項目 数量 備考
	六価クロム溶出試験の実施	●	あり	○	なし	次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。 試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。 なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
						場所 工種 配合設計段階検体数 施工後段階検体数 工法 備考
						開削部 管路埋戻工 1 検体 1 検体 埋戻工 試験方法5
						合計 1 検体
	濁水・湧水の処理	●	あり	○	なし	施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。
		○	あり	●	なし	

3/8

項目	事 項	該 当		内 容		
⑤ 安全対策関係	近接施工	●	あり	○	なし	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。また、そのチェックリストを提出すること。
						場所 近接する施設 条件 備考
						開削部 水道管 近接箇所の人力掘削
⑥ 埋戻関係	作業時間内の埋戻復旧	●	あり	○	なし	作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日に実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。 掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。
	処理土	●	あり	○	なし	処理土の購入先は、広島県が公表する建設発生土リサイクルプラントを見込んでいる。
	流用土（現場内流用）	○	あり	●	なし	
	流用土（他工事流用）	○	あり	●	なし	埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。 なお、止むを得ない事情により、これにより難しい場合は、別途、協議すること。
						他工事名 搬入場所 搬入時期 備考
	再生砂	●	あり	○	なし	電線管の埋戻土は、再生砂を使用すること。
	品質管理	●	あり	○	なし	品質管理頻度 埋戻土量・試験回数 試験方法
						埋戻土量500m3につき1回 ただし、50m3未満の場合は省略できる。
						(次のいずれか) 簡易貫入試験 (土研式円すい貫入試験) 現場密度試験
						市道 14回以上/10cm 県道 17回以上/10cm (複数回の場合異なる層、位置で実施)

4/8

項目	事 項	該 当		内 容
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	☒	☐	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。
	建設汚泥（泥土）	☐	☒	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。
				種別 搬出場所 運搬距離 備考
	建設汚泥（泥水）	☒	☐	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。
				種別 搬出場所 運搬距離 備考
				泥水 福山市瀬戸町地頭分字虎534-1 仕様書のとおり
	特定建設資材の廃棄物	☒	☐	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。
				種別 搬出場所 運搬距離 備考
				アスファルト殻 福山市大門町野々浜沖浦山482-1 仕様書のとおり
	建設副産物情報交換システム	☒	☐	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。
	広島県土砂の適正処理に関する条例	☐	☒	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。
		☐	☒	
		☐	☒	

5/8

項目	事 項	該 当		内 容
⑧ 仮設関係	土留	☒	☐	次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。
				場所 工法 土留種別 備考
				開削工 たて込み簡易土留工 軽量鋼矢板Ⅲ型 ヒービング、ホイリングの恐れのない砂質、礫質、粘性土
				開削工 軽量鋼矢板建込工 鋼製 ケーシング式土留工 鋼製 t=12mm //
				立坑 //
	仮設(土留)材料の残置	☒	☐	次のとおり、工事終了後も仮設（土留）材料を残置すること。
				場所 仮設材料名 残置の形態 数量 備考
				立坑 鋼製 t=12mm 計画地盤-1.5m 1 基
	路面覆工	☒	☐	作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。
				場所 覆工幅 覆工延長 仕様 備考
				立坑 1.80 m 1.80 m 円形覆工板
	覆工材料の残置	☐	☒	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。
				場所 仕様 数量 付属部材 備考
	水替	☒	☐	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。
	仮設電力設備	☒	☐	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。
				場所 設備の種類 備考
				開削水替工 ☒ 発動発電機 ☐ 低圧受電 ☐ 高圧受電
				☐ 発動発電機 ☐ 低圧受電 ☐ 高圧受電
	一般搬入道路	☒	☐	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。
				搬入道路 期間 時間 工事中・後の処置 備考
				全ての道路 工事期間 8時～17時 随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修 処置は使用に伴い影響があった場合
	仮設道路	☐	☒	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。
				期間 安全施設 使用中の処置 使用後の処置 備考

6/8

項目	事 項	該 当		内 容				
⑨ 工事支障物件関係	試験掘り	○ あ り	● な し	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。				
				場所	確認物件	方法	備考	
	本工事に含まれる移設工事	○ あ り	● な し	本工事では、次の移設工事を含んでいる。				
				場所	移設物件	移設の形態	設計見込金額（税抜）	
	工事支障物件	○ あ り	● な し	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。				
				場所	支障物件	内容	備考	
	○ あ り	● な し						
⑩ 地盤改良・推進関係	薬液注入	○ あ り	● な し	次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。				
				場所	数量・区分等	工法	プラント	備考
	推進工法	○ あ り	● な し	次のとおり、推進工法を見込んでいる。				
				区間	工法	備考		
		○ あ り	● な し					

項目	事 項	該 当		内 容				
⑪ その他	取付ますの請求額	● あ り	○ な し	設置した取付ますについて、材料費等を含めた設置費用として、設置依頼者等に対して請求する額は、 ¥23,000円（消費税を含む）としている。				
	その他の図面	● あ り	○ な し	福山市上下水道局の「福山市下水道構造標準図」（2026年4月1日改訂版）に基づき、適切に実施すること。				
	マンホール及び取付管の位置調査	● あ り	○ な し	工事の完了に伴い、「マンホール及び取付管の位置調査」の記載要領に基づき、マンホール及び取付管の位置を記入した図面を作成し、提出すること。				
	工事完成のお知らせ	● あ り	○ な し	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」（別途、参考様式有り）を配布すること。				
	水道配水用ポリエチレン管の施工	● あ り	○ な し	対象口径	必要な資格	資格証発行者	講習会の主催者	施工要件
				φ150mm以下	水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証（福山市配水管）	配水用ポリエチレンパイプシステム協会	配水用ポリエチレンパイプシステム協会	有資格者の施工
		○ あ り	● な し					
		○ あ り	● な し					
	○ あ り	● な し						

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.04.01(0)	凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種	31 下水道工事 (2)		
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	00 補正なし		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T 補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0 %		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削・VUφ200)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
管路埋戻	70	m3			単第0 -0001 表 Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
発生土処理	40	m3			単第0 -0003 表 Y1101010103 レベル4
		式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)	70	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0005 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 再資源化施設 L=2.0km	70	m3			F0000000021 00
埋戻土運搬		式			Y1I01010104レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離2.0km以下(1.5km超)	40	m3			SPK25040002 00 単第0 -0007 表
処理土	50	m3			F0000000032 00
管布設工	1	式			Y1I010102 レベル3
硬質塩化ビニル管 【管規格】		m			Y1I01010203レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	62	m			SG1D0006001 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐水合板設置工 φ 200用 , φ 250用	62	m			VT01512 00 単第0 -0009 表
継手類		箇所			Y1I01010212レベル4
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管径200mm, ヒューム管径150mm	7	組			TH011042 00
レジンマンホール用可とう継手 φ 200mmVU	1	個			F0000000052 00
マンホール削孔接続		箇所			Y1I01010213レベル4
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用, 径200用	3	箇所			TH003130 00
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎 【砂材料】		m			Y1I01010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	16	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
エコ水砕スラグ					F0000000031 00
	20	m3			
管路土留工					Y1I010105 レベル3
	1	式			
たて込み簡易土留					Y1I01010502レベル4
		式			
建込工(両側分)					SG1D0032001 00
	21	m			単第0 -0011 表
引抜工(両側分)					SG1D0032002 00
	21	m			単第0 -0013 表
たて込み簡易土留賃料					F0000000033 00
	1	式			
軽量鋼矢板土留					Y1I01010503レベル4
		式			
軽量鋼矢板建込工(両側分) 掘削深2.0m以下 BH0.28m3(山積)					VS0404713 00
	10	m			単第0 -0014 表
軽量金属土留支保工 設置段数1段					VS41184 00
	10	m			単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板賃料 (φ 200VU)					F0000000034 00
	1	式			
軽量金属土留支保賃料 (φ 200VU)					F0000000035 00
	1	式			
管きょ工(開削・PE φ 75)					Y1I0101 レベル2
	1	式			
管路土工					Y1I010101 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1I01010101レベル4
		式			
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	40	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻					Y1I01010102レベル4
		式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	10	m3			単第0 -0003 表
発生土処理					Y1I01010103レベル4
		式			

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)	40	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0005 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 再資源化施設 L=2.0km	40	m3			F0000000021 00
埋戻土運搬		式			Y1I01010104レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離2.0km以下(1.5km超)	10	m3			SPK25040002 00 単第0 -0007 表
処理土	20	m3			F0000000032 00
管布設工	1	式			Y1I010102 レベル3
ポリエチレン管		m			Y1I01010208レベル4
ポリエチレン管(片受直管) PE φ75 下水道用 L=5m	18	本			F0000000044 00

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン曲管 EF片受 φ75 下水道用 11° 1/4	3	個			F0000000045 00
ポリエチレン曲管 EF片受 φ75 下水道用 22° 1/2	3	個			F0000000046 00
ポリエチレン曲管 EF片受 φ75 下水道用 45°	2	個			F0000000047 00
カラー PE φ75 下水道用	4	個			F0000000048 00
ポリエチレン管据付工 呼び径 75 mm	89	m			SQ105 00 単第0 -0016 表
ポリエチレン管（融着接合）継手工 呼び径75mm 2口継手（標準）	4	箇所			SQ108 00 単第0 -0017 表
ポリエチレン管（融着接合）継手工 呼び径75mm 1口継手	26	箇所			SQ108 00 単第0 -0018 表
ポリエチレン管切断 呼び径 75 mm	7	口			SQ110 00 単第0 -0019 表
管明示テープ工（ポリエチレン管） 呼び径：φ75 【材工共】	89	m			VQ00000100 00 単第0 -0020 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管明示シート工（茶地、白文字） 【材工共】	89	m			VQ00000200 00 単第0 -0021 表
ロケーティングワイヤー	93	m			SQ000045 00 単第0 -0022 表
マンホール削孔接続		箇所			Y1I01010213レベル4
削孔（既設無筋コンクリート構造物） 削孔径：160 t < 0.2	1	箇所			F0000000063 00
レジンマンホール削孔 削孔径：160	1	箇所			F0000000062 00
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎 【砂材料】		m			Y1I01010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	13	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0010 表
エコ水砕スラグ	16	m3			F0000000031 00

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土留工	1	式			Y11010105 レベル3
軽量鋼矢板土留		式			Y1101010503 レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分) 掘削深1.5m以下 BH0.28m3(山積)	0.6	m			VS0404703 00 単第0 -0023 表
軽量鋼矢板建込工(両側分) 掘削深2.0m以下 BH0.28m3(山積)	0.7	m			VS0404713 00 単第0 -0014 表
軽量金属土留支保工 設置段数1段	1	m			VS41184 00 単第0 -0015 表
軽量鋼矢板賃料 (φ 75PE)	1	式			F0000000064 00
土留支保賃料 (φ 75PE)	1	式			F0000000065 00
マンホール工	1	式			Y110102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y11010202 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立1号マンホール					Y1I01020202レベル4
		箇所			
福山市型鋳鉄製マンホールふた（高機能） T-14（転落防止装置含む）φ 600mm口環付 分流用	4	枚			F0000000006 00
高さ調整部材 調整高 25～75mm 福山市承認型 M16	4	個			F0000000011 00
円形1号(内径900)Ⅰ種 斜壁 600×900×450	4	個			TH003066 00
円形1号(内径900)Ⅰ種 管取付け壁 900×900	4	個			TH003088 00
円形1号(内径900)Ⅰ種 底板 H=130	4	個			TH003096 00
マンホール付属品 調整リング 600×50	4	個			TH003098 00
無収縮モルタル 25kg袋	4	袋			TH003190 00
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	4	箇所			SG1D0053002 00
					単第0 -0024 表

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
底部工 円形1号マンホール 1口水砕スラグ	4	箇所			VD5214 00 単第0 -0025 表
組立2号レジンマンホール		箇所			Y1101020203レベル4
組立2号マンホール 2号(内径1200mm) 深さ4m以下	1	箇所			SG1D0054002 00 単第0 -0029 表
親子蓋 マンホールふた(市章入) T-14(転落防止装置含む) φ600×900 防食有	1	枚			F0000000054 00
円形2号レジン製 頂版 120(A)-130(90)	1	個			F0000000055 00
円形2号レジン製 直壁 120(B)-900	1	個			F0000000056 00
円形2号レジン製 管取付け壁 120(C)-1200	1	個			F0000000057 00
円形2号レジン製 底版 120(P)-90	1	個			F0000000058 00
円形2号レジン製 調整リング 90(K)-150	2	個			F0000000059 00

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
高さ調整部材 調整高 25～75mm 福山市承認型 M16	1	個			F0000000011 00
無収縮モルタル 25kg袋	1	袋			TH003190 00
レジンマンホール用はしご PP製 はしご長H210cm	1	基			F0000000053 00
取付管およびます工	1	式			Y1I0104 レベル2
管路土工	1	式			Y1I010401 レベル3
管路掘削		式			Y1I01040101レベル4
機械掘削工(バックホウ)	4	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001 表
管路埋戻		式			Y1I01040102レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	3	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理					Y1I01040103レベル4
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)		式			SG1E0003002 00
	4	m3			単第0 -0005 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 再資源化施設 L=2.0km					F0000000021 00
	4	m3			
埋戻土運搬					Y1I01040104レベル4
		式			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離2.0km以下(1.5km超)					SPK25040002 00
	3	m3			単第0 -0007 表
処理土					F0000000032 00
	4	m3			
取付管布設工					Y1I010403 レベル3
	1	式			
取付管(硬質塩化ビニル管)					Y1I01040302レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設および支管取付工 管径 150mm					SG1D0089002 00
	2	箇所			単第0 -0030 表
立坑工					Y1I0202 レベル2
	1	式			
管路土工					Y1I010301 レベル3
	1	式			
管路埋戻					Y1I01030102 レベル4
		式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	2	m3			単第0 -0003 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設					SPK25040157 00
	1	m3			単第0 -0031 表
発生土処理					Y1I01030103 レベル4
		式			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離24.5km以下(14.5km超)					SPK25040002 00
	10	m3			単第0 -0032 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土受入費 再資源化施設 クラムシェル L=19.7km	10	m3			F0000000041 00
埋戻土運搬		式			Y1I01030104レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離2.0km以下(1.5km超)	2	m3			SPK25040002 00 単第0 -0007 表
処理土	3	m3			F0000000032 00
鋼製ケーシング式土留工及び土工	1	式			Y1I030204 レベル3
鋼製ケーシング圧入掘削		m			Y1I02020401レベル4
圧入掘削積込み工 呼び径 1,800mm 砂質土	3.7	m			SG1D0602001 00 単第0 -0033 表
ケーシング溶接工 呼び径 1,800mm	1	箇所			SG1D0602002 00 単第0 -0036 表
ケーシング引上げ工 呼び径 1,800mm 引上げ延長	1	箇所			SG1D0602003 00 単第0 -0038 表

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーシング撤去工 呼び径 1,800mm	1	箇所			SG1D0602004 00 単第0 -0040 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離9.0km以下(7.0km超)	0.78	t			SPK25040411 00 単第0 -0043 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ 配合くず（可鍛コロ）	0.78	t			F0000000060 00
底盤コンクリート		箇所			Y1I03020402レベル4
底盤コンクリート打設工	3	m3			V000000300 00 単第0 -0044 表
圧入掘削設備		箇所			Y1I03020403レベル4
機械設置撤去工 呼び径 1,800mm	1	回			SG1D0604001 00 単第0 -0045 表
鋼製ケーシング存置		m			Y1I03020404レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製ケーシング 呼び径1,800mm t = 12mm	3.0	m			F0000000067 00
鋼製ケーシング刃先 呼び径1,800mm 加工、接続費含	1	個			F0000000068 00
仮設ケーシング損料		式			Y1I03020405レベル4
鋼製仮設ケーシング損料 呼び径1,800mm	1	箇所			F0000000069 00
立坑排水		箇所			Y1I03020406レベル4
うわ水排水工	1	箇所			SG1D0607001 00
排水運搬処理		箇所			単第0 -0046 表 Y1I03020407レベル4
スライム処理工	1	箇所			SG1D0608001 00
側溝清掃車運搬 運搬距離_14.0km超え22.0km以下	1	m3			単第0 -0047 表 S1030031 00
					単第0 -0048 表

本工事費 内訳表

頁0 -0019

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
建設汚泥受入費 再資源化施設 汚泥吸排車 L=14.4km	1	m3			F0000000042 00
円形覆工板		箇所			Y1I03020408レベル4
円形覆工板設置工 呼び径 1,800mm	1	箇所			SG1D0609001 00
円形覆工板撤去工 呼び径 1,800mm	1	箇所			単第0 -0050 表 SG1D0609002 00
円形覆工板開閉工 呼び径 1,800mm	1	箇所			単第0 -0051 表 SG1D0609003 00
円形覆工板賃料等	1	回			単第0 -0052 表 SG1D0609004 00
付帯設備工	1	式			単第0 -0053 表 Y1F0205 レベル2
付属物工 制御盤基礎工及び電線管理設工	1	式			Y1I060620 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0020

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路掘削					Y1101010101レベル4
		式			
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	10	m3			単第0 -0001 表
基面整正					SPK25040017 00
	6	m2			単第0 -0054 表
管路埋戻					Y1101010102レベル4
		式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	3	m3			単第0 -0003 表
再生砂					T0249 00
	1	m3			
発生土処理					Y1101010103レベル4
		式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	7	m3			単第0 -0005 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0021

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土受入費 再資源化施設 L=2.0km	7	m3			F0000000021 00
埋戻土運搬		式			Y1I01010104レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離2.0km以下(1.5km超)	3	m3			SPK25040002 00 単第0 -0007 表
処理土	1	m3			F0000000032 00
管布設工	1	式			Y1I010102 レベル3
電線管 【電線管種類,電線管規格】		m			Y1H03040601レベル4
電線管布設(人力)据付工 呼び径 40mm	27	m			SQ000027 00 単第0 -0055 表
電線管 φ 40mmFEP	27	m			F0000000073 00
埋設表示シート 電線管用 W150mm × L=50m	1	枚			F0000000074 00

本工事費 内訳表

頁0 -0022

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール削孔接続					Y1I01010213レベル4
		箇所			
レジンマンホール削孔 削孔径：252					F0000000061 00
	1	箇所			
コンクリート基礎					Y1I01010304レベル4
		m			
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設					SPK25040157 00
	3	m3			2.07+1.29 = 3.36 単第0 -0056 表
型枠 一般型枠 小型構造物					SPK25040159 00
	10	m2			4.10+6.04 = 10.14 単第0 -0057 表
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40					SPK25040034 00
	6	m2			4.50+1.75 = 6.25 単第0 -0058 表
鉄筋 SD345 D13					SPK25040335 00
	0.05	t			単第0 -0059 表
フェンス					Y1I06130303レベル4
		m			
金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔2m					SPK25040255 00
	4	m			単第0 -0060 表

本工事費 内訳表

頁0 -0023

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
メッシュフェンス H1800 L=2.0m	4	m			F0000000075 00
門扉（両開き） H1800 W1500	2	基			F0000000076 00
付帯工	1	式			Y1I0106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601 レベル3
舗装版切断		m			Y1I01060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	330	m			SPK25040307 00 単第0 -0061 表
舗装版破碎		m2			Y1I01060102 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	197	m2			SPK25040306 00 単第0 -0062 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	200	m2			SPK25040306 00 仮舗装 単第0 -0062 表

本工事費 内訳表

頁0 -0024

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬処理		m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)	10	m3			SPK25040155 00 単第0 -0063 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)	6	m3			SPK25040155 00 仮舗装 単第0 -0063 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As塊受入費 再資源化施設	10	m3			F0000000022 00
As塊受入費 再資源化施設	6	m3			F0000000022 00 仮舗装
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
不陸整正		m2			Y1I01060301レベル4
不陸整正 補足材料無し	197	m2			SPK25040234 00 単第0 -0064 表

本工事費 内訳表

頁0 -0025

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤(歩道部)		m2			Y1I01060303レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	100	m2			SPK25040236 00 単第0 -0065 表
上層路盤(歩道部)		m2			Y1I01060305レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚120mm 1層施工 RM-30	197	m2			SPK25040238 00 単第0 -0066 表
表層(車道・路肩部)		m2			Y1I01060308レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	197	m2			SPK25040244 00 単第0 -0067 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(歩道部)		m2			Y1I01060409レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	200	m2			SPK25040247 00 単第0 -0068 表

本工事費 内訳表

頁0 -0026

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y110105 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y11010501 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1101050101 レベル4
		式			
交通誘導警備員B 2人配置					R0369 00
	57	人			
管路施設(舗装)					Y1101 レベル1
	1	式			
付帯工					Y110106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y11010601 レベル3
	1	式			
舗装版破碎					Y1101060102 レベル4
		m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					SPK25040306 00
	319	m2			単第0 -0062 表

本工事費 内訳表

頁0 -0027

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬処理		m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)	16	m3			SPK25040155 00 単第0 -0063 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As塊受入費 再資源化施設	16	m3			F0000000022 00
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
不陸整正		m2			Y1I01060301レベル4
不陸整正 補足材料無し	319	m2			SPK25040234 00 単第0 -0064 表
表層(車道・路肩部)		m2			Y1I01060308レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	319	m2			SPK25040244 00 単第0 -0067 表

本工事費 内訳表

頁0 -0028

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線工					Y11010605 レベル3
	1	式			
溶融式区画線					Y1101060501レベル4
		m			
区画線設置（溶融式） 実線 15cm					V000000400 00
	200	m			単第0 -0069 表
仮設工					Y110105 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y11010501 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1101050101レベル4
		式			
交通誘導警備員B 2人配置					R0369 00
	4	人			
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004

本工事費 内訳表

頁0 -0029

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
重建設機械分解組立輸送費					YZZ04001003 レベル4
		回			
重建設機械分解組立輸送 バックハウ系 山積1.0m3以上山積1.4m3以下					S1000017 00
	1	回			単第0 -0070 表
仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
		t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0071 表
仮設材等(ケーシング,覆工板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0074 表
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0030

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
土質試験費					YZZ06001001レベル4
		式			
【設計経費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0048
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法5					TH003920 00
	1	試料			
通水試験費					YZZ06001002レベル4
		式			
通水試験 管径：8 0 0 mm以下 給水車で注水する					SQ400 00
	1	式			単第0 -0077 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0031

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0032

[illegible]



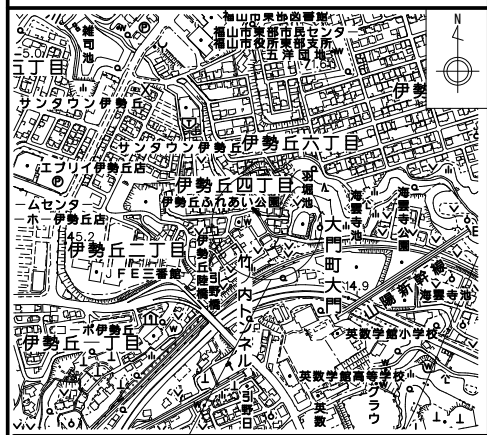
2026年度 市単独 下水道事業

工事場所 福山市伊勢丘四丁目及び伊勢丘六丁目地内

図面番号	1 9	縮尺	図示
------	--------	----	----

蔵王第2処理分区

位置図 S=1 : 10,000

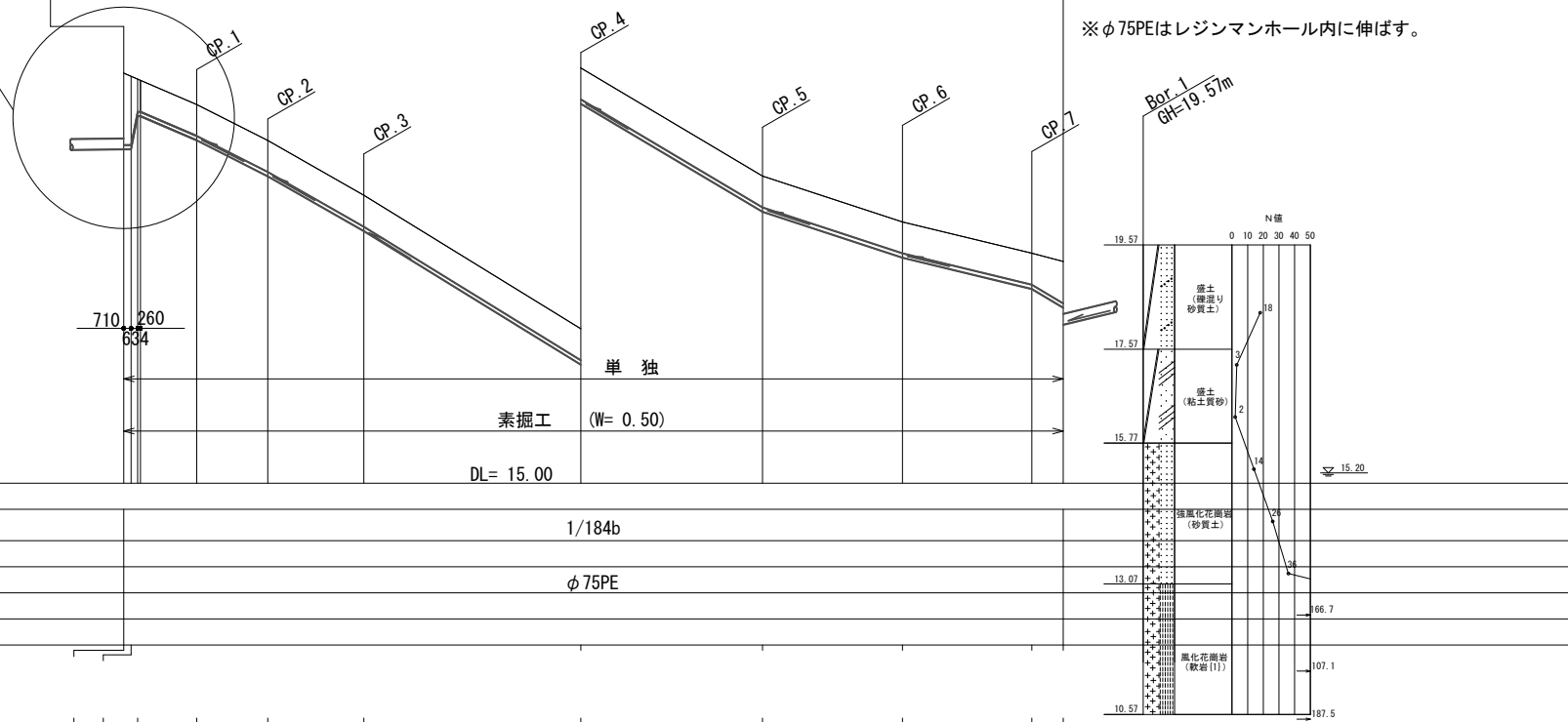
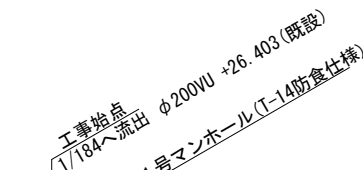
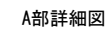


工事施行箇所

凡	例
→	実施路線
→	既設・計画路線
—φ 100V—	水道管
—Gφ 100—	ガス管
—NTT4条1段—	N T T ケーブル
—E2条1段—	中電 ケーブル
—	側溝・水路



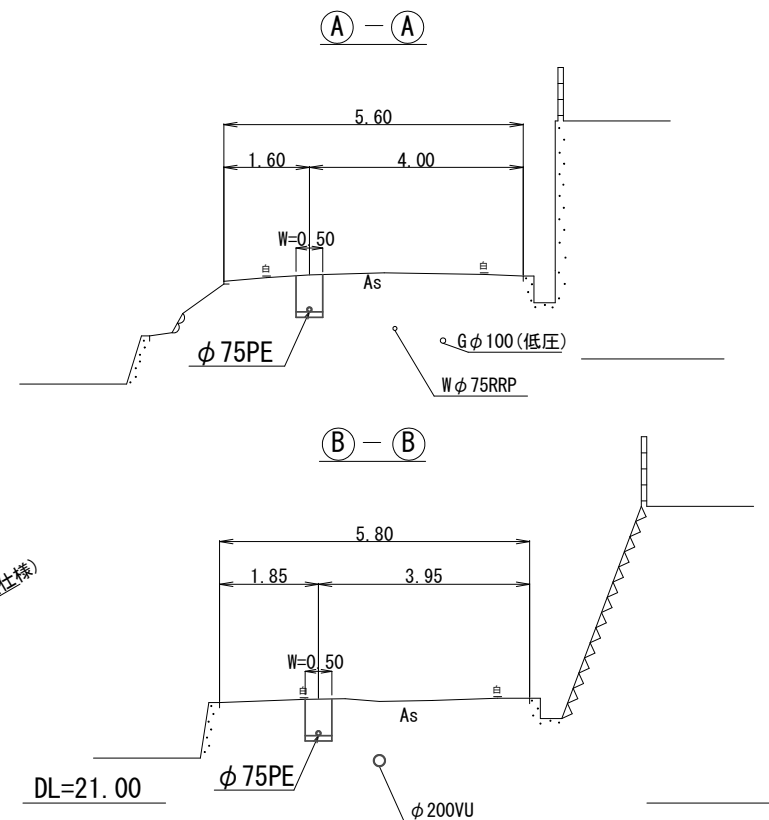
管渠埋設縦断面図 $S = \frac{\text{縦} 1/100}{\text{横} 1/500}$



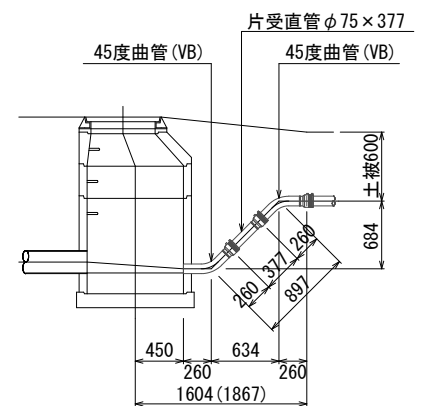
管 番 号	
区間距離	
断 面	
勾 配	
管 延 長	
地 盤 高	計 画
	現 在
土 被	
追加距離	
測 点	

[illegible]

標準横断面図=1/100



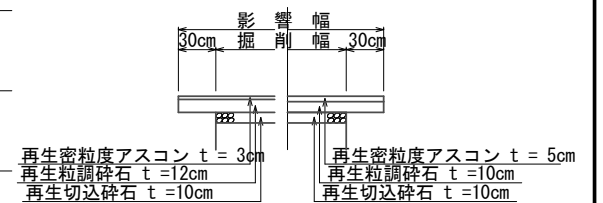
A 部詳細図 S=1/50



舗装断面図

S=1/50

市道
(車道) (仮舗装) (本舗装)



流関 8－2 4 (その 2)

福山市上下水道局

2026年度 市単独 下水道事業

工事名称 円形管埋設工事

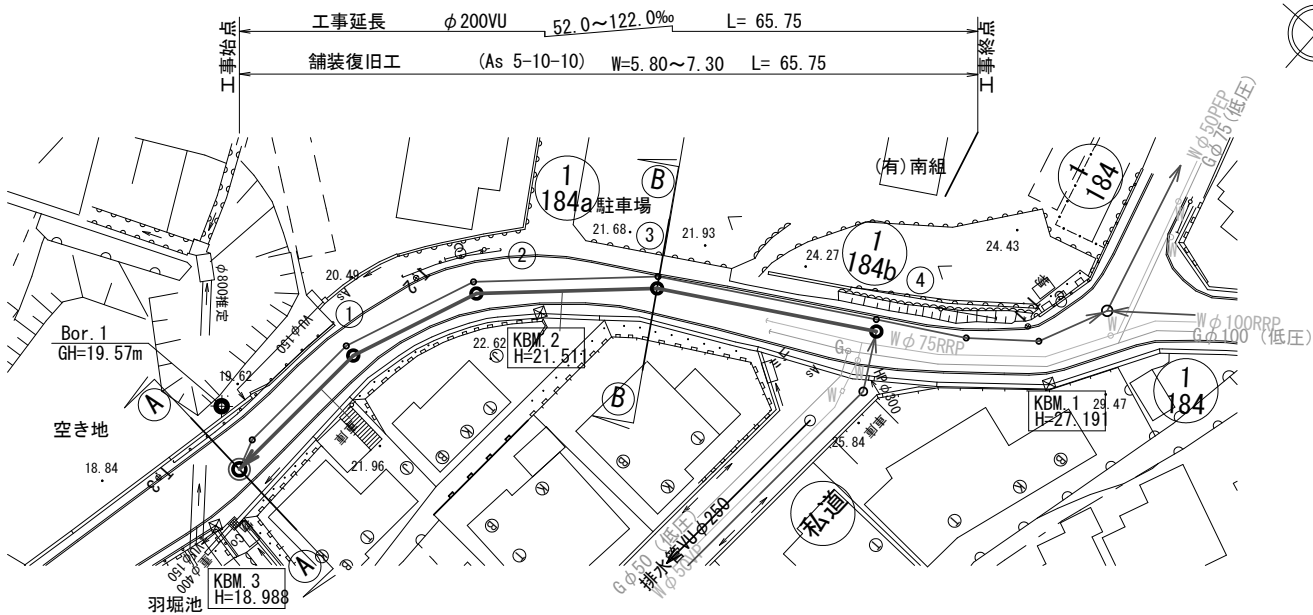
工事場所 福山市伊勢丘四丁目及び伊勢丘六丁目地内

図面番号 2 / 9 縮尺 図示

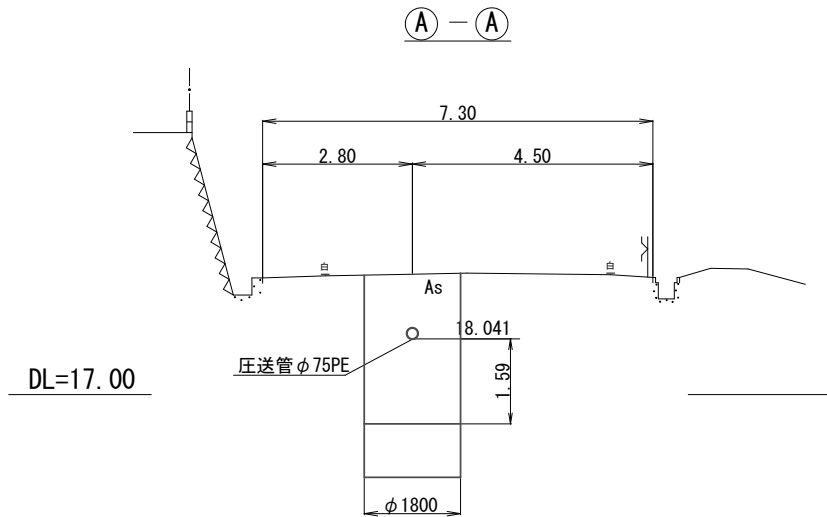
管渠埋設平面図
管渠埋設縦断面図

補6-2-7

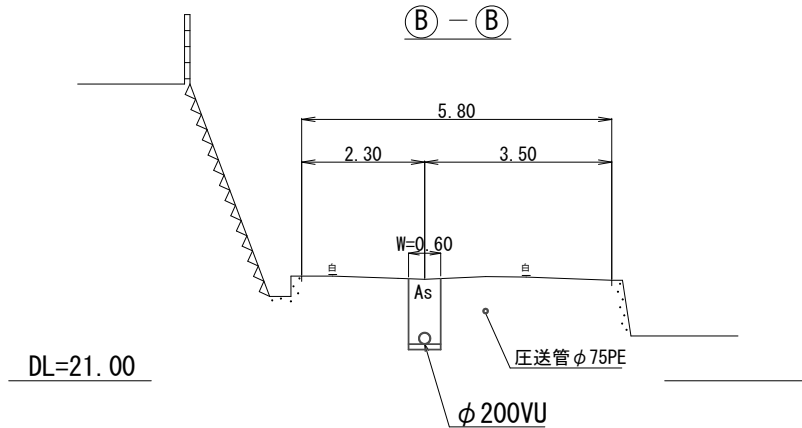
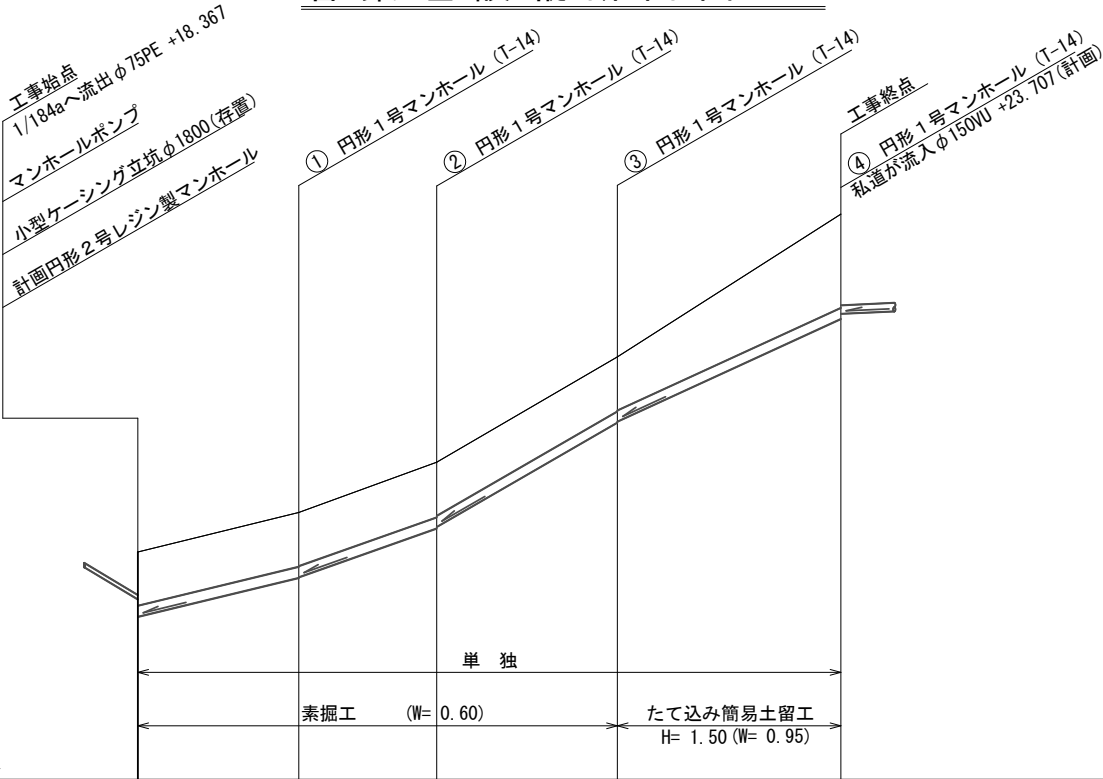
管渠埋設平面図 S=1/500



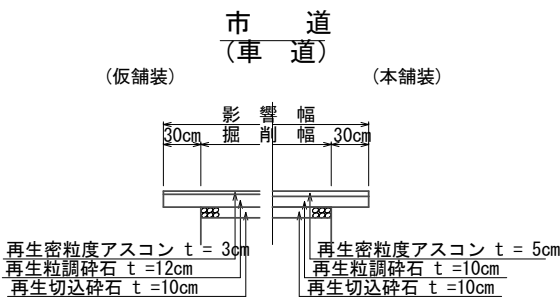
標準横断面図 S=1/100



管渠埋設縦断面図 S=縦1/100 横1/500



舗装断面図 S=1/50



工事施行箇所

凡 例	
→	実施路線
→	既設・計画路線
—φφ100VP—	水道管
—Gφ100—	ガス管
—NTT4条1段—	NTTケーブル
—E2条1段—	中電ケーブル
—	側溝・水路

DL= 15.00

管 番 号
区 間 距 離
断 面
勾 配
管 延 長
地 計 画
盤 高 現 在
土 被
管 底 高
追 加 距 離

(勾配計算延長)	1/184a			
	15.05	12.90	16.90	20.90
(勾配計算延長)	φ200VU			
	52.0%	76.0%	122.0%	96.0%
(勾配計算延長)	14.00	12.00	16.00	20.00
	14.00	12.00	16.00	20.00
(勾配計算延長)	19.25	19.99	20.93	22.90
	1.000	1.012	1.028	1.018
(勾配計算延長)	18.041	18.769	19.693	21.673
	1.000	1.000	1.000	1.000
(勾配計算延長)	0.00	15.05	27.95	44.85
	0.00	1.000	1.000	1.000
(勾配計算延長)	18.041	18.769	19.693	21.673
	1.000	1.000	1.000	1.000
(勾配計算延長)	0.00	15.05	27.95	44.85
	0.00	1.000	1.000	1.000

流関8－24（その1）

福山市上下水道局

2026年度 市単独 下水道事業

工事名称 円形管埋設工事

工事場所 福山市 伊勢丘六丁目 地内

図面番号

39

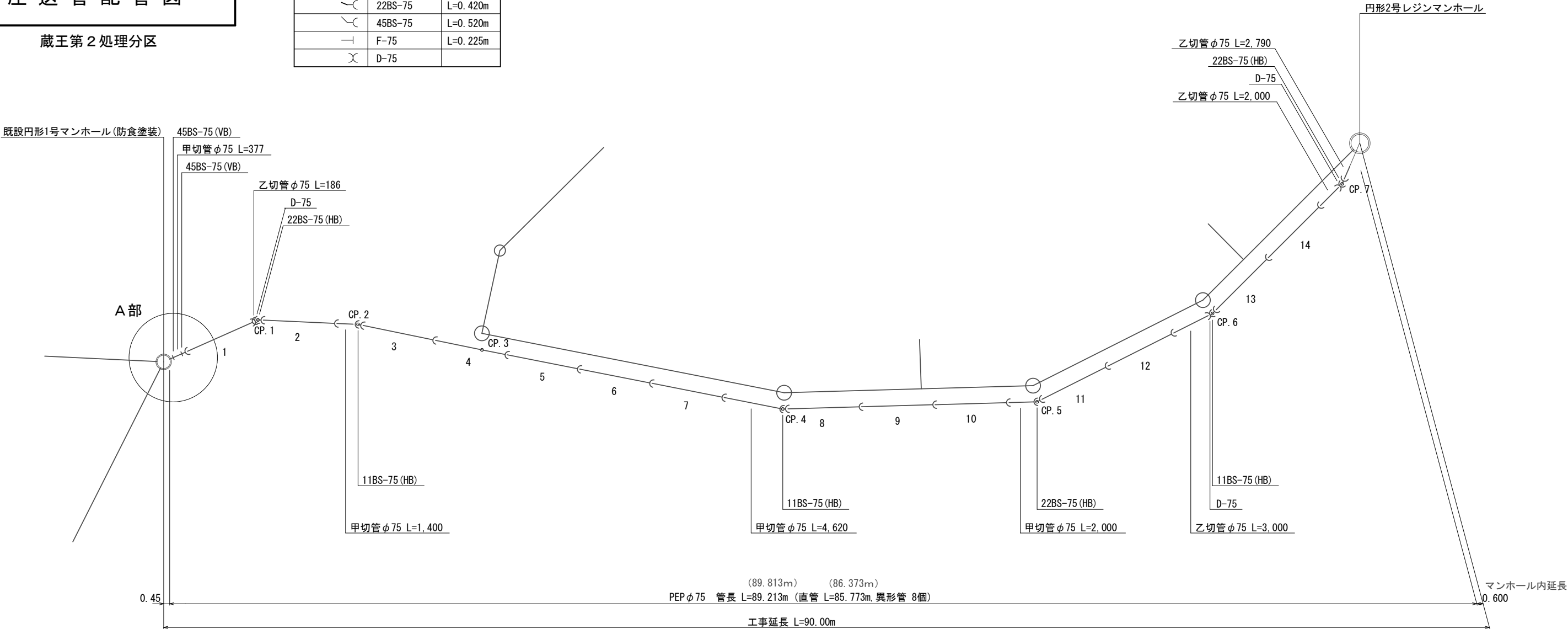
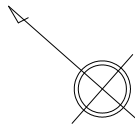
 縮尺 図示

圧送管配管図

補6-2-6

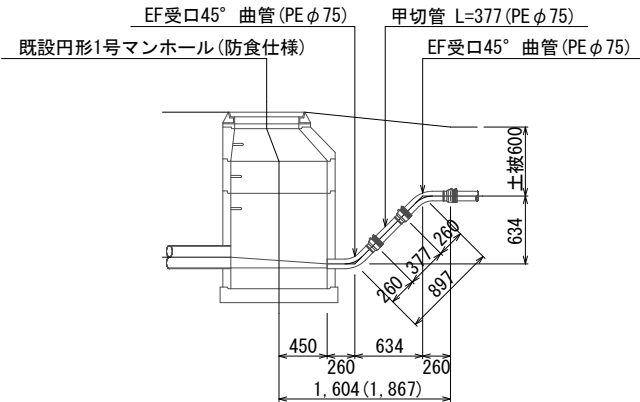
凡 例		
記 号	略 号	
PA-11/JSWAS K-14		
	SP-75	L=5.000m
	SE-75	L=5.000m
	切管(甲切)	L= m
	切管(乙切)	L= m
	11BS-75	L=0.380m
	22BS-75	L=0.420m
	45BS-75	L=0.520m
	F-75	L=0.225m
	D-75	

圧送管管割図 S=1/200

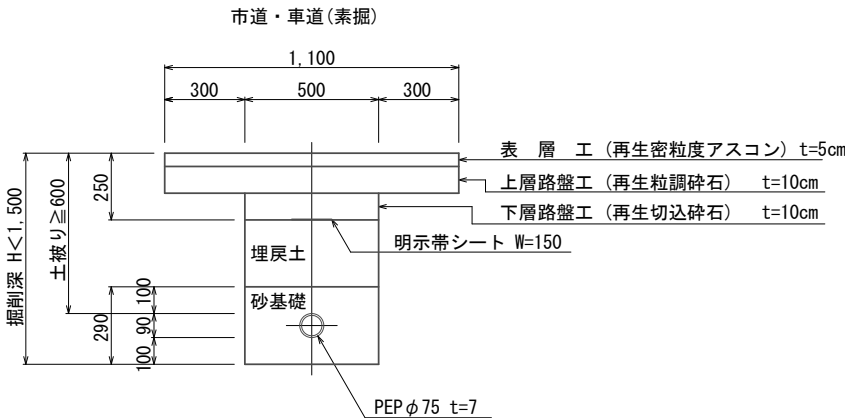


※（ ）内の数字には、円形2号レジンマンホール内布設の管延長0.60mを含む

A部詳細図 S=1/50



標準掘削断面図 S=1/20



流関 8－2 4 （その 1）			
福 山 市 上 下 水 道 局			
2 0 2 6 年 度 市 単 独 下 水 道 事 業			
工 事 名 称	円 形 管 埋 設 工 事		
工 事 場 所	福山市 伊勢丘六丁目 地内		
図 面 番 号	4 / 9	縮 尺	図 示
立 坑 構 造 図			

補6-2-6

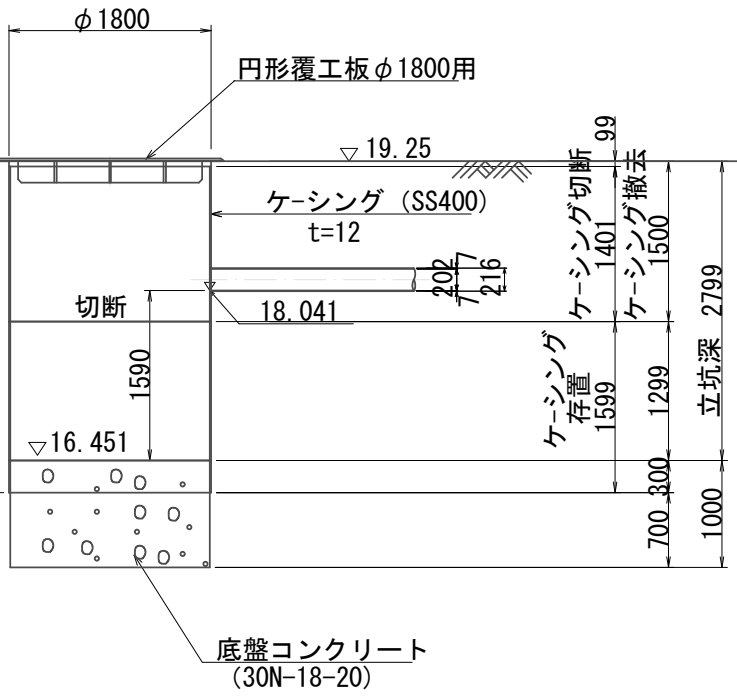
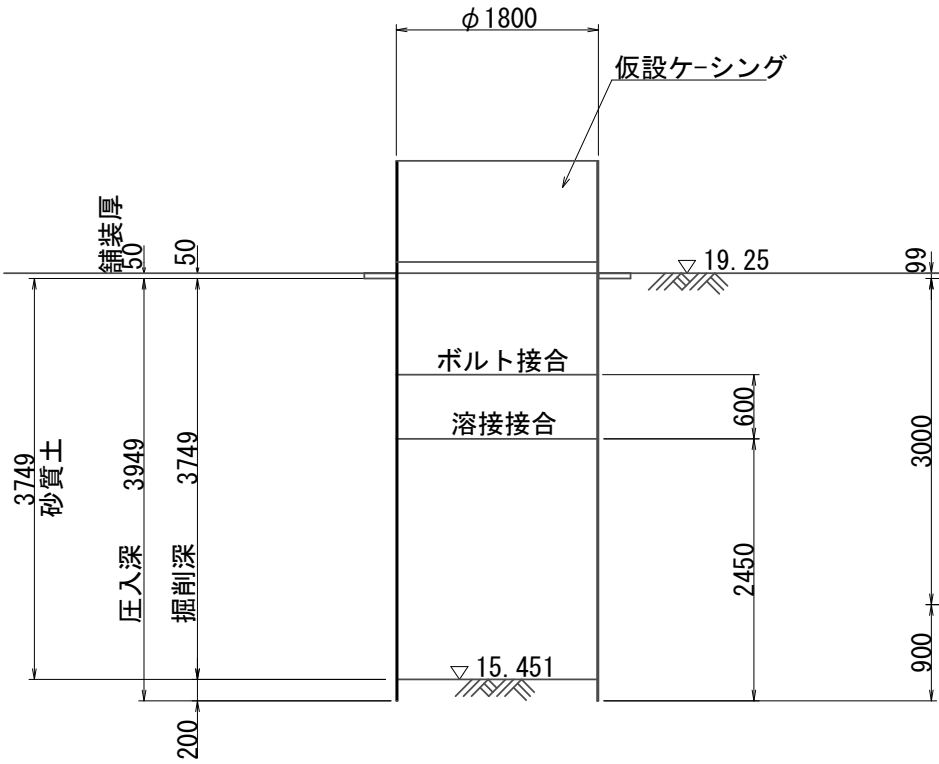
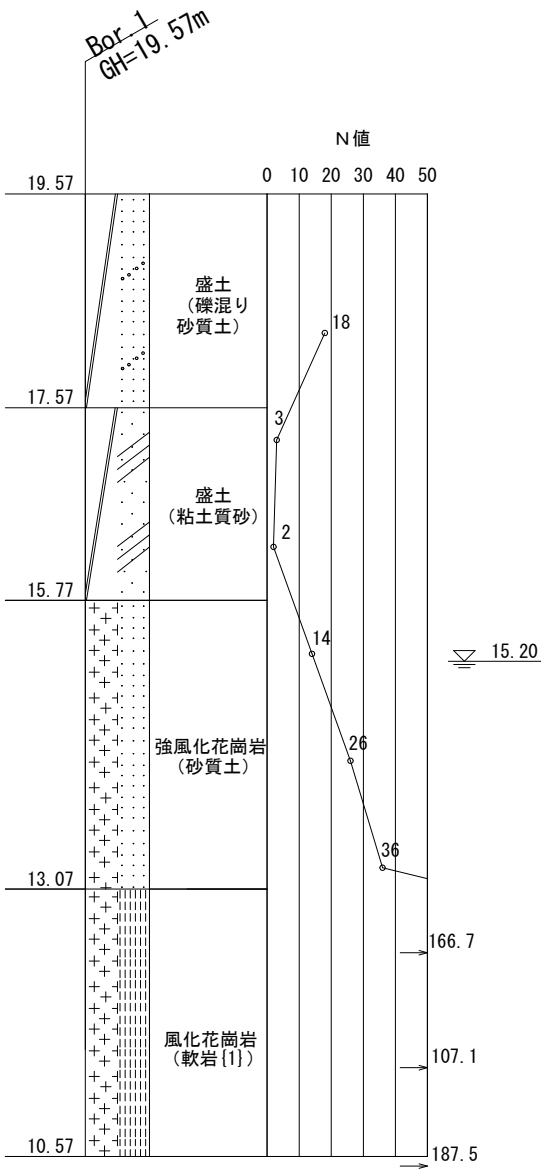
No. 1 マンホールポンプ立坑構造図

S=1/50

鋼製小型立坑φ1800

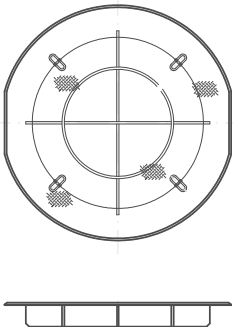
ケーシング圧入時

底盤コンクリート築造時



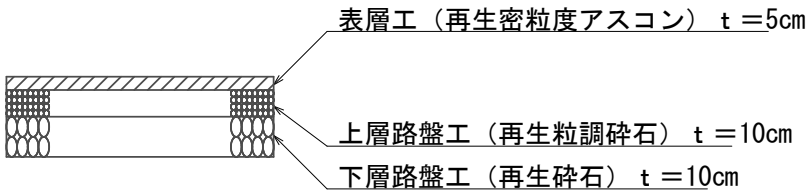
- ※1 管下 (h) は、 $h= 0.200 + 0.55 + 0.750 + 0.090 = 1.590\text{m}$
- ※2 覆工板は円形覆工板 (φ1800用) を使用する。

円形覆工板φ1800用
(参考図)



舗装断面図 S=1/20

市道車道



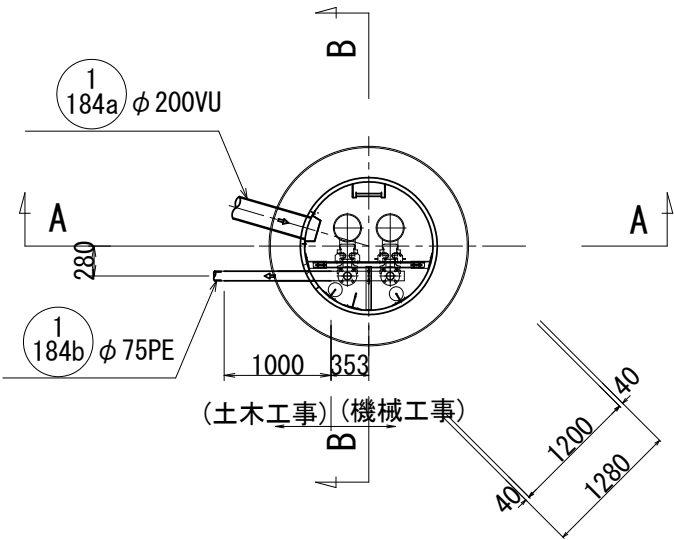
流関 8-24 (その1)			
福山市上下水道局			
2026年度 市単独 下水道事業			
工事名称	円形管埋設工事		
工事場所	福山市 伊勢丘六丁目 地内		
図面番号	5/9	縮尺	図示
円形2号レジン製マンホール 構造図			

補6-2-6

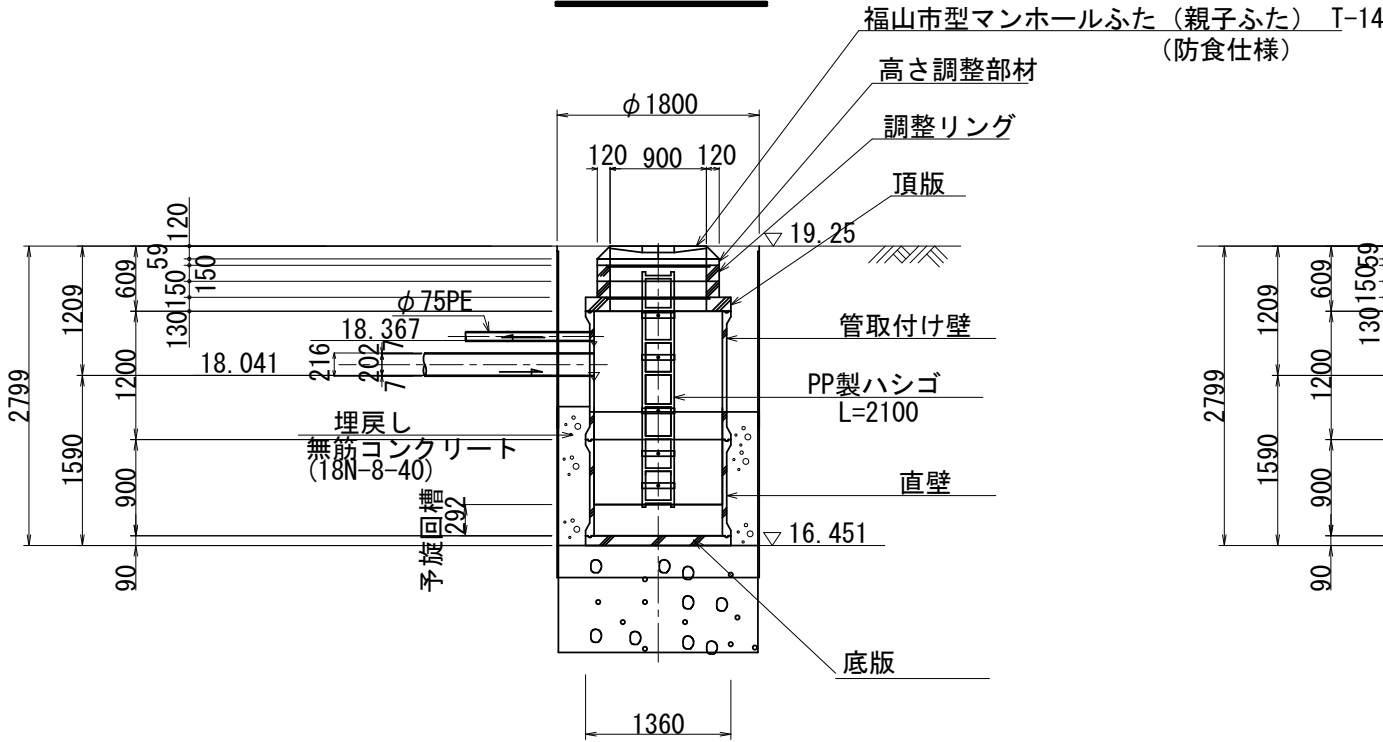
No.1 円形2号レジン製マンホール構造図

S=1/50

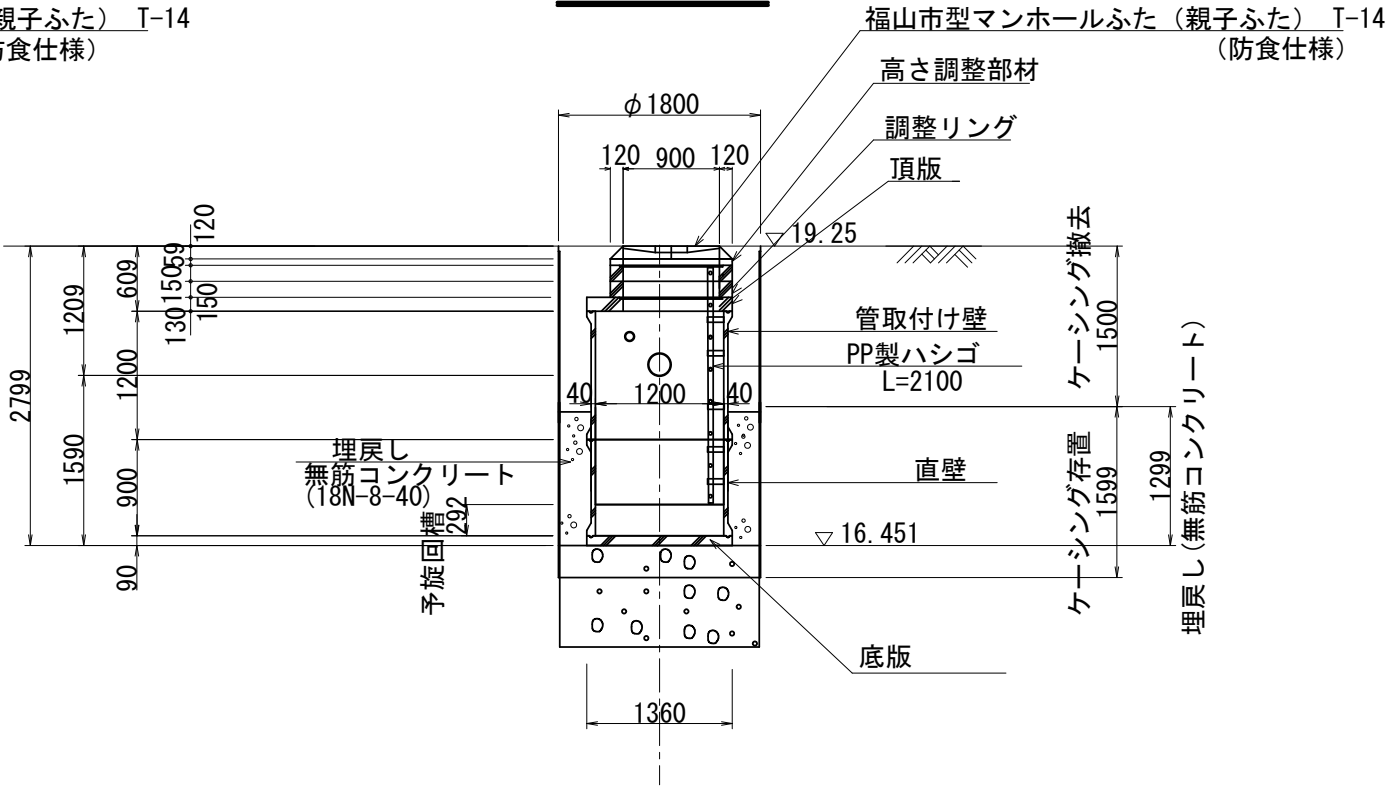
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図

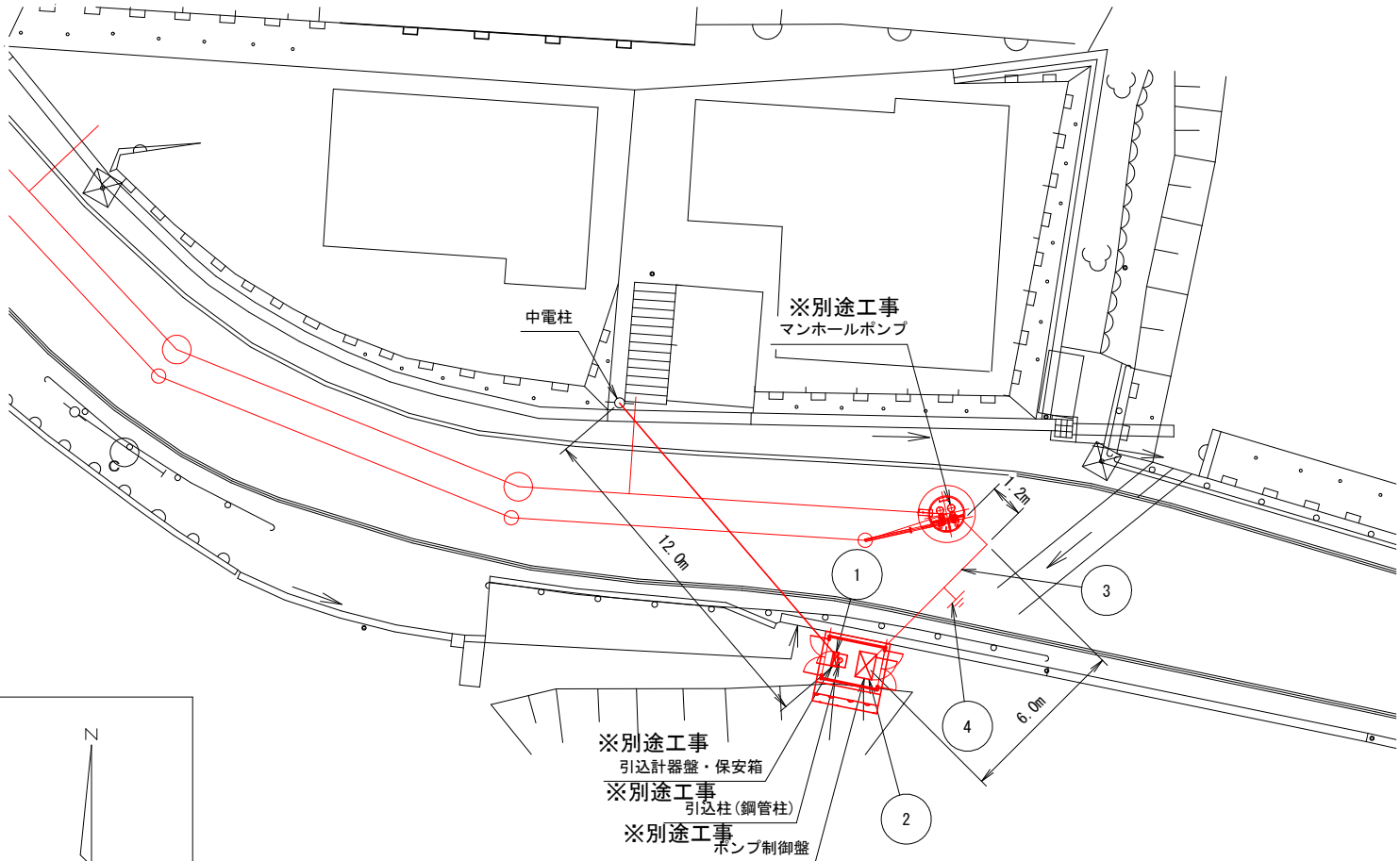


福山市上下水道局			
2026年度 市単独 下水道事業			
工事名称	円形管埋設工事		
工事場所	福山市 伊勢丘六丁目 地内		
図面番号	6/9	縮尺	図示
全体配置平面図 付近見取図			



付近見取図 (S=1:2,500)

全体配置平面図 (S=1:250)



①	動力引込線	引込計器盤・保安器箱	—EM-CE/F5.5□-3C—	—PE28、F ₂ #30—
	電力引込線		—EM-CE/F3.5□-2C—	—PE22、F ₂ #24—
	NTT回線		電話線	—PE22、F ₂ #24—
②	引込計器盤・保安器箱	ポンプ制御盤	—EM-CE/F5.5□-3C—	—PE28、F ₂ #30—
			—EM-CE/F3.5□-2C—	—PE28、F ₂ #30—
			—EM-IE/F3.5□—	—PE28、F ₂ #30—
③	ポンプ制御盤	1号ポンプ	ポンプ専用ケーブル	FEP40
		2号ポンプ	ポンプ専用ケーブル	FEP40
		投込圧力式水位計	水位計専用ケーブル	FEP40
		フロートスイッチ	フロートスイッチ専用ケーブル×2	FEP40
④	ポンプ制御盤	A種接地極(避雷器)	—EM-IE/F14□—	—VE22—

流関 8－2 4

福山市上下水道局

2026年度 市単独 下水道事業

工事名称

円形管埋設工事

工事場所

福山市 伊勢丘六丁目 地内

図面番号

7/9 縮尺 図示

マンホールポンプ

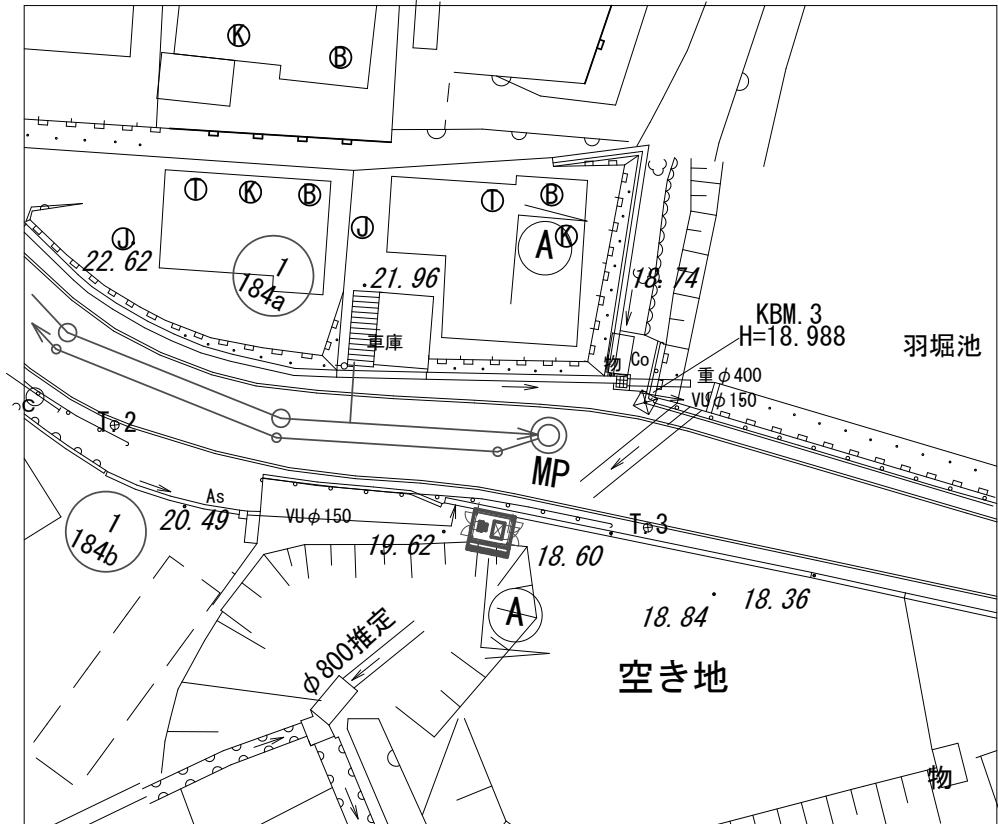
制御盤場一般図

補6-2-6

マンホールポンプ制御盤場一般図

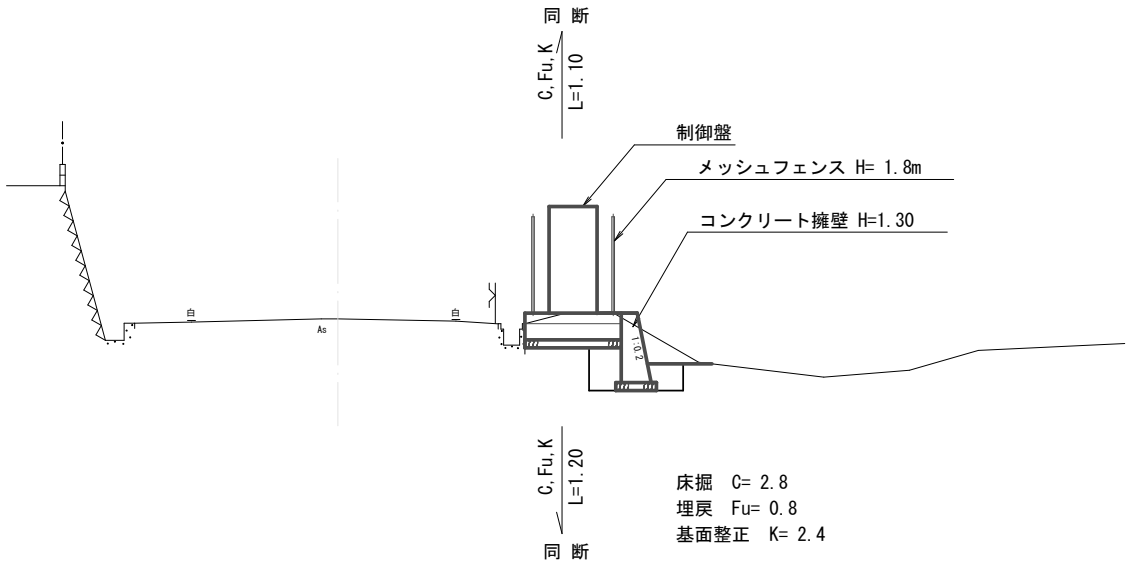
平面図

S=1/300



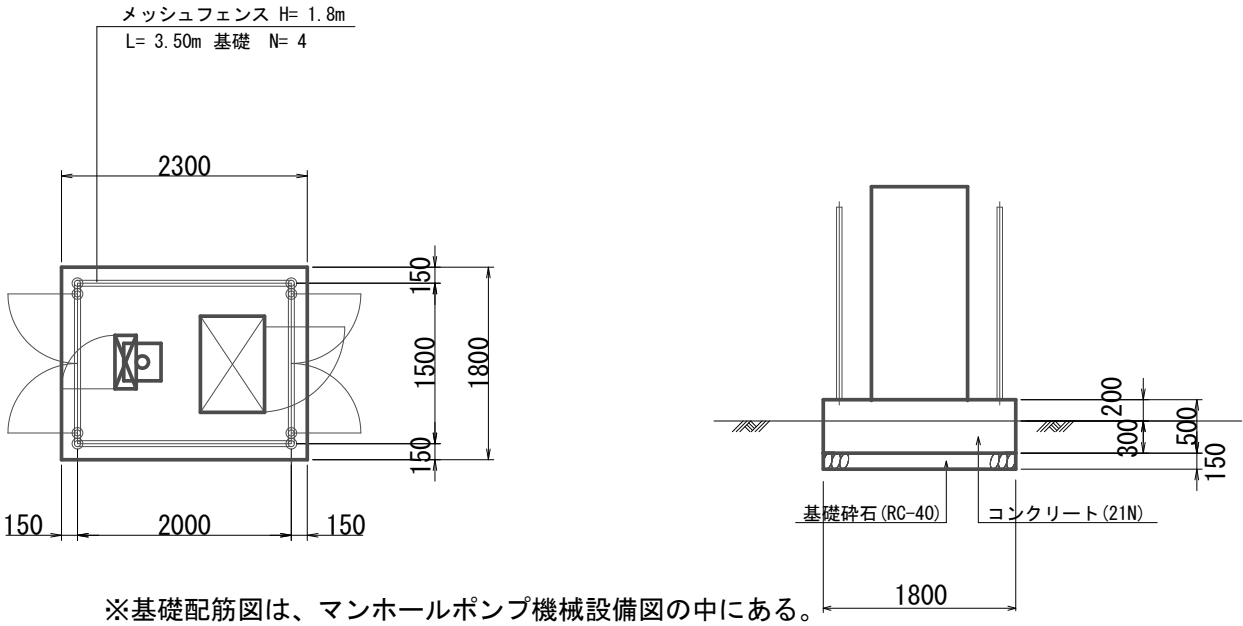
A-A 断面図

S=1/100



制御盤場構造図

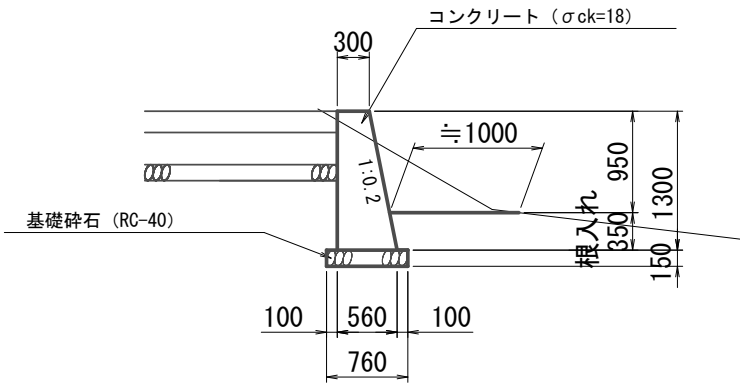
S=1/50



コンクリート擁壁構造図

(SGW46)

S=1/50



数量表

1式当り

種別	算式	数量
コンクリート	$(0.30+0.56) \times 1/2 \times 1.30 \times 2.30=1.29$	1.29 m3
型枠	$1.30 \times (1.000+1.020) \times 2.30=6.04$	6.04 m2
基礎碎石	$0.76 \times 2.30=1.75$	1.75 m2

流関 8-24 工区

福山市上下水道局

2026年度 市単独 下水道事業

工 事 名 称	円形管埋設工事
---------	---------

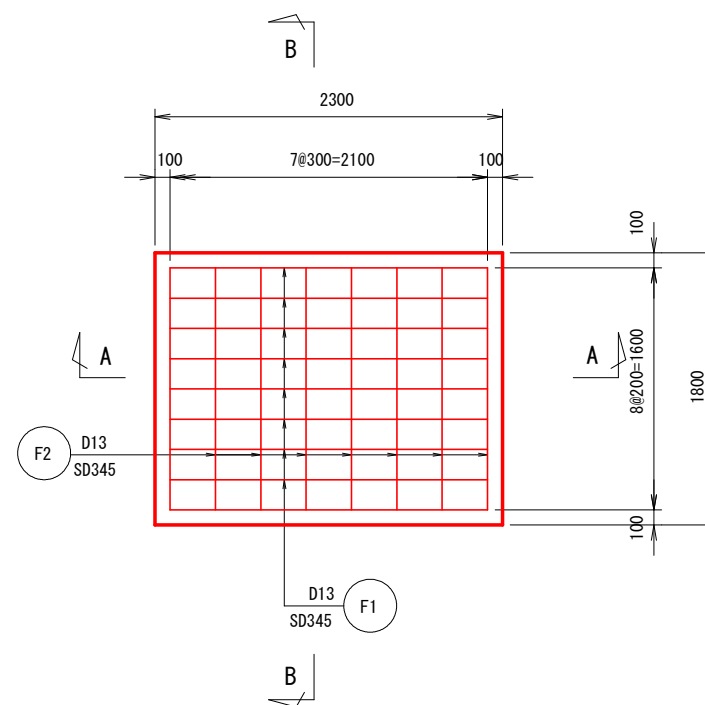
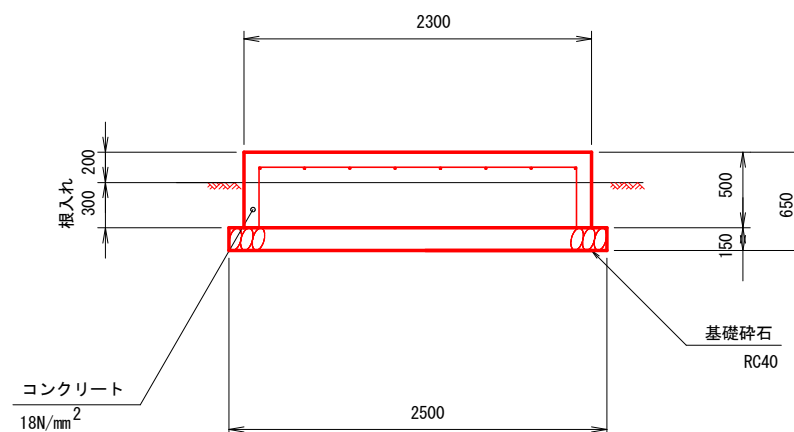
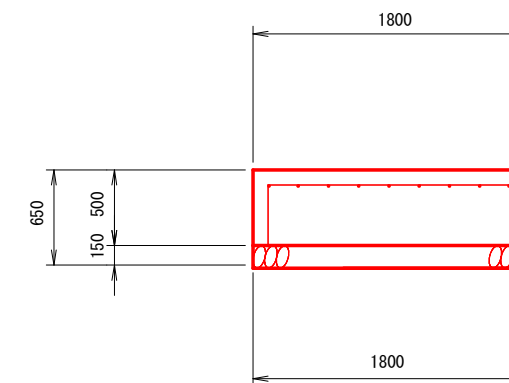
工事場所 福山市 伊勢丘六丁目 地内

図面番号	$\frac{8}{9}$	縮尺	1/50
------	---------------	----	------

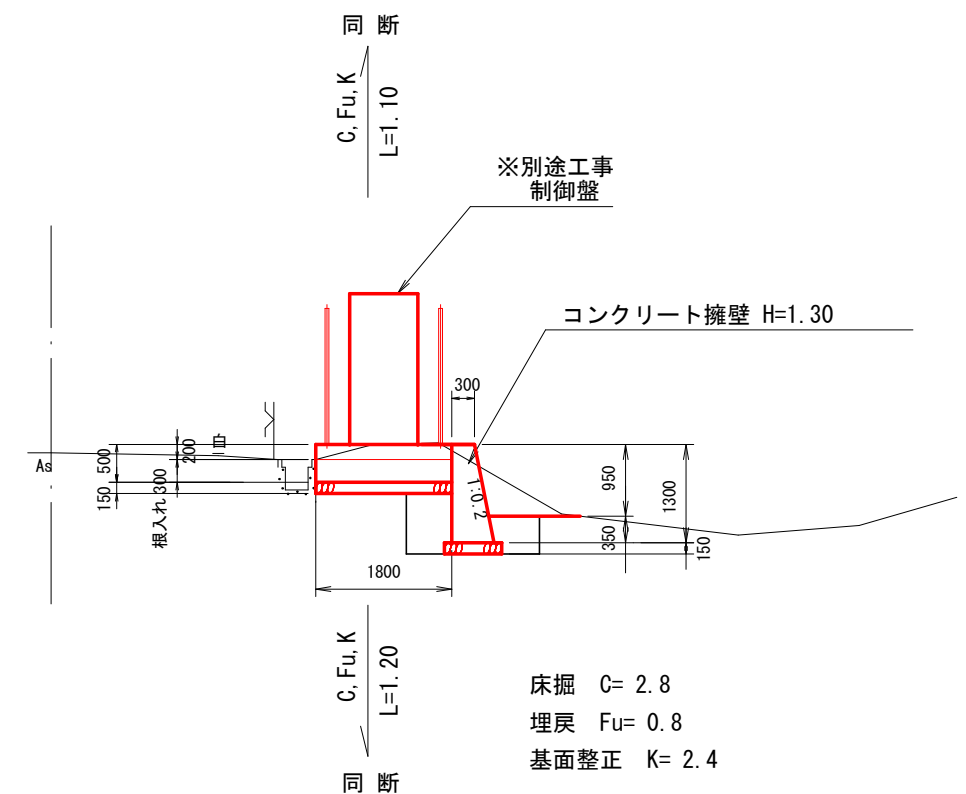
制御盤基礎構造図

制御盤基礎構造図

平面图

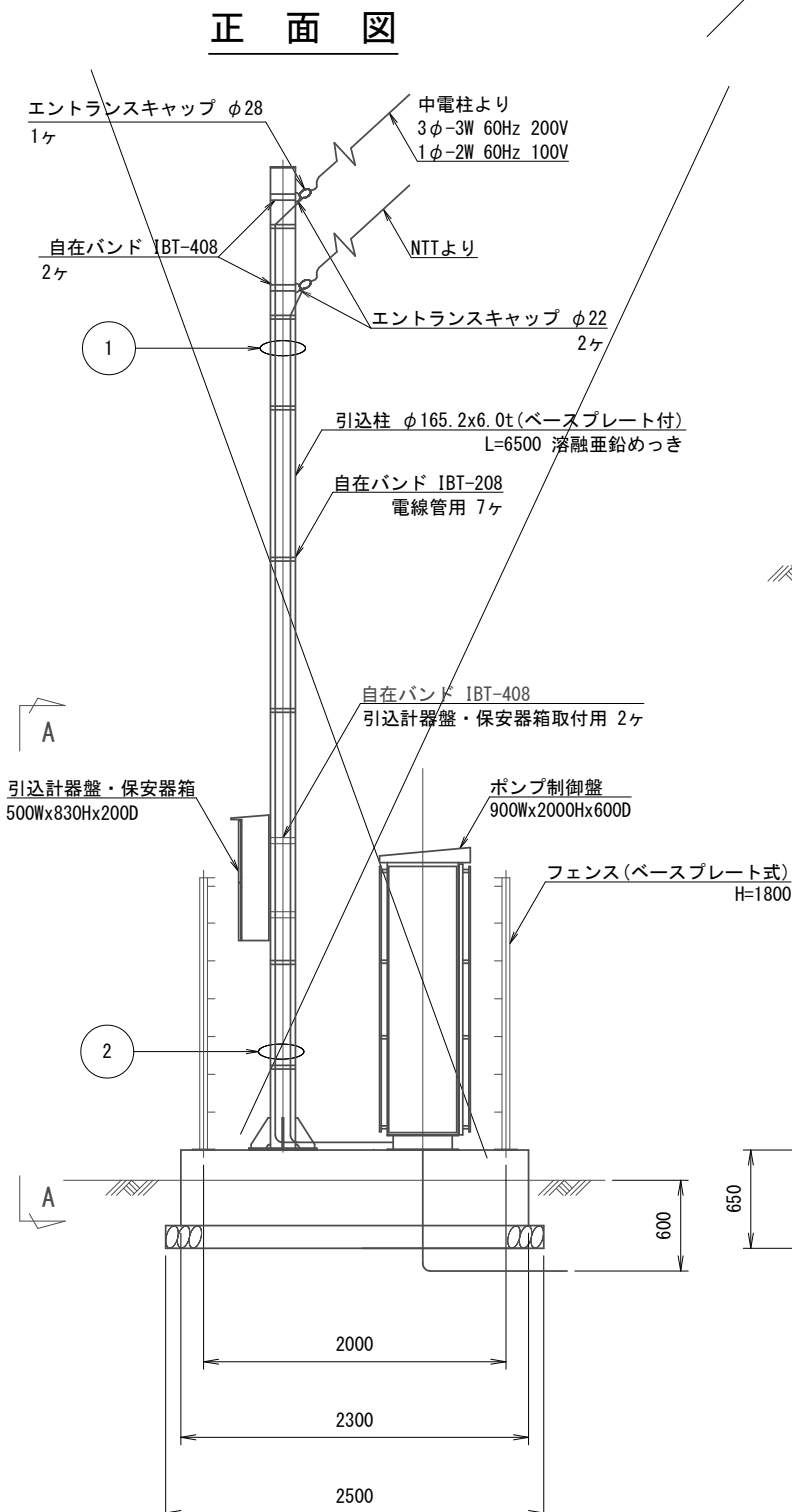

$$A - A$$

$$B - B$$


断面図

$$S = 1/100$$


流関 8 - 2 4			
福 山 市 上 下 水 道 局			
2 0 2 6 年 度 市 単 独 下 水 道 事 業			
工 事 名 称	円 形 管 埋 設 工 事		
工 事 場 所	福山市 伊勢丘六丁目 地内		
図 面 番 号	9 / 9	縮 尺	図 示
電 気 設 備 図			

※(3)のFEPならびに(4)のEM-IE/F14□, VE22は別途土木工事とする。

$$L=7.2\text{m}$$


側 面 図

削孔・モルマンホール補修するこ
φ250 1ヶ所

埋設表示シート(ダブル)

ポンプ制御盤基礎

至 マンホールポンプ

650
300
150
1800
600
300
200

B - B

削孔・モルタル充填
マンホール内側を樹脂パテで
補修すること
φ250 1ヶ所

埋設表示シート (ダブル)

600
300

← 至 ポンプ制御盤

(ダブル)

300
600

ールポンプ →

改良型ノンクログ水中汚水ポンプ
φ65×2.2kW×2台
0.159m³/min×12.1m

F. H. H. W. L	▽+18. 441 (異常高水位)
F. H2. W. L	▽+18. 341 (バックアップ運転水位)
H. H. W. L	▽+18. 241 (警報水位)
H2. W. L	▽+18. 041 (同時運転水位)
H1. W. L	▽+17. 841 (交互運転水位)
L. W. L	▽+17. 291 (有効貯留水深下端水位)
S. L	▽+16. 541

参 考 图 书

施工単価表

頁0 -0001

機械掘削工(バックホウ)

SG1D0001002

單第0 -0001 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0002

機-01_バックホウ運転

SM0102020

單第0 -0002 表

113 標準型 排2

山積0.28m3(平積0.2m3)

時間 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

頁0 -0004

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0004 表

1

m3 当り

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,658.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0005

発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)

SG1E0003002

單第0 -0005 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

ダンプトラック運転
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0006 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	32.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011 オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=32 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

頁0 -0007

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間有り 距離2.0km以下(1.5km超)

単第0 -0007 表
標準単価: 1,334.50000
1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=11 距離2.0km以下(1.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0008

硬質塩化ビニル管布設工

SG1D0006001

單第0 -0008 表

呼び径 200mm

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

耐水合板設置工
φ 200用，φ 250用

VT01512

單第0 -0009 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

砂基礎工(機械施工)

SG1D0019002

單第0 -0010 表

m3 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

建込工(両側分)

SG1D0032001

單第0 -0011 表

1 m 当日

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.20	人			
特殊作業員	0.20	人			
普通作業員	0.40	人			
機-01_バックホウ運転 113 標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	1.1	時間			単第0-0012 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/10m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 掘削深 2.0m以下					

施工単価表

頁0 -0012

機-01_バックホウ運転

SM0102020

單第0 -0012 表

113 標準型 排2

山積0.28m³(平積0.2m³)

$$: (11.6 + 6.2) * 600 / 800 = 13.35$$

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

引拔工(両側分)

SG1D0032002

單第0 -0013 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

輕量鋼矢板建込工(両側分)

VS0404713

單第0 -0014 表

掘削深2.0m以下

BH0.28m3(山積)

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

輕量金屬土留支保工

VS41184

單第0 -0015 表

100

m 当日

設置段数1段

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

ポリエチレン管据付工

SQ105

單第0 -0016 表

呼び径 7 5 mm

10

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

ポリエチレン管（融着接合）継手工
呼び径75mm

SQ108

單第0 -0017 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

ポリエチレン管（融着接合）継手工
呼び径75mm

SQ108

單第0 -0018 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

ポリエチレン管切断
呼び径 75 mm

SQ110

單第0 -0019 表

口 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

管明示テープ工（ポリエチレン管）

VQ00000100

單第0 -0020 表

呼び径：φ75

【材工共】

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

管明示シート工（茶地、白文字）

VQ00000200

單第0 -0021 表

100

m

当り

【材工共】

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

ロケーティングワイヤー

SQ000045

單第0 -0022 表

100

m

当日

[illegible]

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)
掘削深1.5m以下

VS0404703
BH0.28m3(山積)

単第0 -0023 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			$(1.7+0.9)*600/800=1.95$
特殊作業員	2.0	人			$(1.7+0.9)*600/800=1.95$
普通作業員	5.9	人			$(5.1+2.7)*600/800=5.85$
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	12.5	時間			$(11.0+5.7)*600/800=12.525$
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			

単第0-0012 表

施工単価表

頁0 -0024

組立1号マンホール

SG1D0053002

單第0 -0024 表

箇所 当り

1号(内径900mm) 深さ3m以下

施工単価表

頁0 -0025

底部工
円形1号マンホール

VD5214
エコ水砕スラグ*

單第0 -0025 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0026 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 37.55% 材料構成比: 62.45% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 34,633.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	19.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	62.45%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=1 養生工無し J=1 -		

施工単価表

頁0 -0027

モルタル上塗り(マンホール用)

VG1E0044003

單第0 -0027 表

厚さ2cm

$$\frac{\pi}{4} \times 0.90^2$$

m2

当り

[illegible]

施工単価表

モルタル練
高炉

SPK25040158

単第0 -0028 表

1
標準単価： 102,720.00000
m3 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 82.04% 材料構成比： 17.96% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0029

組立2号マンホール

SG1D0054002

單第0 -0029 表

箇所 当り

2号(内径1200mm) 深さ4m以下

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

取付管布設および支管取付工
管径 150 mm

SG1D0089002

單第0 -0030 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0031 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

SPK25040002

DID区間有り 距離24.5km以下(14.5km超)

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0032 表

1

標準単価:

m3 当り

3,676.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=55 距離24.5km以下(14.5km超)			B=4 クラムシェル平積0.4m3または平積0.8m3 D=2 DID区間有り		

施工単価表

圧入掘削積込み工

SG1D0602001

単第0 -0033 表

呼び径 1,800mm

砂質土

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.150	人			
特殊作業員	0.150	人			
普通作業員	0.300	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,800mm	0.9	時間			単第0-0034 表
機-01_ドラグライン及びクラムシェル運転 061_油圧クラムシェル テレスコピック バケット容量(平積0.4m3)	0.474	時間			単第0-0035 表 0.9/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.150	日			
諸雑費	1	式			
* * * 単位当たり * * *	1	m			
A=2 砂質土 C=2 呼び径 1,800mm E=66 【F】圧入機損料(時間)			B=3 適用範囲 N 30 D=1 揺動圧入機 F=5.3 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

頁0 -0034

機-01_圧入機運転

SM01G0001

單第0 -0034 表

揺動圧入機

呼び径 1,800mm

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

機-01 ドラグライン及びクラムシェル運転

SM0102040

單第0 -0035 表

061 油圧クラムシェル テレスコピック

バケット容量(平積0.4m3)

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

ケーシング溶接工

SG1D0602002

單第0 -0036 表

呼び径 1,800mm

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

ケーシング溶接工

SG1E0602001

單第0 -0037 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

ケーシング引上げ工

SG1D0602003

單第0 -0038 表

呼び径 1,800mm

引上げ延長

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

ケーシング引上げ工

SG1E0602002

単第0 -0039 表

呼び径 1,800mm

揺動圧入機

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.62	人			
特殊作業員	0.62	人			
普通作業員	1.24	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,800mm	5.0	時間			単第0-0034 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.62	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/10m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 呼び径 1,800mm C=66 【F】圧入機損料(時間)			B=1 揺動圧入機 D=5.3 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

頁0 -0040

ケーシング撤去工
呼び径 1,800mm

SG1D0602004

単第0 -0040 表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.53	時間			単第0-0041 表
ケーシング切断工	11.259	m			単第0-0042 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=2 呼び径 1,800mm			B=1.401	ケーシング撤去長(m)	

施工単価表

頁0 -0041

トラック運転
021 クレーン装置付

SM0103020

單第0 -0041 表

ベーストラック4t級 吊能力2.9t

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

ケーシング切断工

SG1E0602003

單第0 -0042 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離9.0km以下(7.0km超)

単第0 -0043 表
標準単価: 1 t 当り
5,007.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=9 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離9.0km以下(7.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0044

底盤コンクリート打設工

V000000300

單第0 -0044 表

10

m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

機械設置撤去工
呼び径 1,800mm

SG1D0604001

単第0 -0045 表

1 回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.17	人			
特殊作業員	0.17	人			
普通作業員	0.34	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,800mm	1.4	時間			単第0-0034 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.17	日			
諸雑費	1	式			
* * * 単位当たり * * *	1	回			
A=2 呼び径 1,800mm C=66 【F】圧入機損料(時間)			B=1 揺動圧入機 D=5.3 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

頁0 -0046

うわ水排水工

SG1D0607001

單第0 -0046 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0047

スライム処理工

SG1D0608001

單第0 -0047 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

側溝清掃車運搬

S1030031

單第0 -0048 表

運搬距離 14.0km超え22.0km以下

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0049

機-19_側溝清掃車運転
ブロー式

S9000083

單第0 -0049 表

ホッパ容量9.0m³ 風量40m³/min

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0050

円形覆工板設置工

SG1D0609001

單第0 -0050 表

箇所 当り

呼び径 1,800mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

円形覆工板撤去工

SG1D0609002

單第0 -0051 表

箇所 当り

呼び径 1,800mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

円形覆工板開閉工

SG1D0609003

單第0 -0052 表

呼び径 1,800mm

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0053

円形覆工板賃料等

SG1D0609004

單第0 -0053 表

1 式 当り

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0054

基面整正

SPK25040017

單第0 -0054 表

1

m2 当り

機械構成比:	0.00%	労務構成比:	100.00%	材料構成比:	0.00%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	508.00000
--------	-------	--------	---------	--------	-------	----------	-------	-------	-----------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0055

電線管布設(人力)据付工

SQ000027

單第0 -0055 表

10

m

当日

呼び径 40mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0056

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0056 表

小型構造物 18-8-40BB

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 41.15%

材料構成比: 58.85%

2.07+1.29 = 3.36

市場単価構成比: 0.00%

1

標準単価:

m3

当り

36,756.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0057

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
小型構造物
労務構成比: 100.00%

4.10+6.04 = 10.14
市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0057 表
標準単価: 1
m2 当り
9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0058

基礎碎石
 碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下
 機械構成比: 5.04% 労務構成比: 74.10% 材料構成比: 20.86% 市場単価構成比: 0.00%
 SPK25040034 4.50+1.75 = 6.25 単第0 -0058 表 1 m2 当り
 標準単価: 1,335.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.01%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0059

基礎碎石

SPK25040034

單第0 -0058 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

$$4.50 + 1.75 = 6.25$$

1

m2 当り

機械構成比: 5.04%

勞務構成比: 74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,335.60000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0060

鉄筋
SD345 D13

SPK25040335

単第0 -0059 表

1
t 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 69.62%

材料構成比: 30.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 406,140.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	39.58%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.76%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	30.38%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

金網・支柱(立入防止柵)

基礎ブロック

機械構成比:0.00%

労務構成比:

SPK25040255

支柱間隔2m

材料構成比:0.00%

市場単価構成比:0.00%

単第0 -0060 表

1

標準単価:

m

当り

3,487.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	90.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 D=1基礎ブロック -(全ての費用)			C=2 支柱間隔2m		

施工単価表

頁0 -0062

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0061 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0063

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0061 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0064

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 12.85% 労務構成比: 81.24% 材料構成比: 5.91% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 217.37000

SPK25040306 障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0062 表 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.05%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)
労務構成比: 39.87%

単第0 -0063 表
材料構成比: 16.08%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 2,385.00000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=15 運搬距離3.5km以下(1.5km超)		

施工単価表

頁0 -0066

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

単第0 -0064 表

1
標準単価： 174.53000
m2 当り

機械構成比： 21.58% 労務構成比： 71.86% 材料構成比： 6.56% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0067

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

單第0 -0064 表

1

m2 当り

機械構成比:	21.58%	労務構成比:	71.86%	材料構成比:	6.56%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	174.53000
--------	--------	--------	--------	--------	-------	----------	-------	-------	-----------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0068

下層路盤(歩道部)
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK25040236

単第0 -0065 表

RC-30
機械構成比: 5.00% 労務構成比: 75.15% 材料構成比: 19.85% 市場単価構成比: 0.00% 1 2 当り
標準単価: 857.31000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.99%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.78%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 30～0mm	17.77%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352

施工単価表

下層路盤(歩道部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 5.00%

労務構成比: 75.15%

材料構成比: 19.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 857.31000

RC-30

SPK25040236

単第0 -0065 表

1

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2 ~ 4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0070

上層路盤(歩道部)
全仕上り厚120mm 1層施工

SPK25040238

単第0 -0066 表

機械構成比: 4.66% 労務構成比: 69.96% 材料構成比: 25.38% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 920.81000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.78%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.66%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30～0mm	23.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360

施工単価表

頁0 -0071

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚120mm 1層施工

機械構成比: 4.66%

労務構成比: 69.96%

材料構成比: 25.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 920.81000

SPK25040238

単第0 -0066 表

1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2 ~ 4KL積載車給油	1.85%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=120 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0072

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0067 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0073

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.38%

SPK25040244

1層当り平均仕上厚50mm

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0067 表

1

標準単価:

m2

当り

1,808.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=6 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)			B=50 E=2 H=1 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0074

表層(歩道部)

SPK25040247

単第0 -0068 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.48% 労務構成比:

52.76%

材料構成比: 46.76%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,994.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.35%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.10%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	20.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.21%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	46.58%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表層(歩道部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.48%

SPK25040247

1層当り平均仕上厚30mm

労務構成比: 52.76%

材料構成比: 46.76%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0068 表

1

標準単価:

m2

当り

1,994.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2 ~ 4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=7 G=2 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスコン(13) 小型車割増有 -(全ての費用)		B=30 E=5 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 瀝青材料無し -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

区画線設置（溶融式）

V000000400

単第0 -0069 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	500	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	114	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	5	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	5	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	200	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0077

重建設機械分解組立輸送 バックハウ系

S1000017

單第0 -0070 表

山積1.0m³以上山積1.4m³以下

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0078

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 敷鉄板等)運搬
運搬距離 10km

S1000007

單第0 -0071 表

1 式 当り

製品長 12m以内

[illegible]

施工単価表

頁0 -0079

基本運賃

運搬距離 10km

S1000009

單第0 -0072 表

式 当り

製品長 12m以内 運搬質量 3.3t

[illegible]

施工単価表

頁0 -0080

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0073 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0081

仮設材等(ケーシング,覆工板等)運搬

S1000007

单第0 -0074 表

運搬距離 10km

製品長 12m以内

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0082

基本運賃
運搬距離 10km

S1000009

單第0 -0075 表

製品長 12m以内 運搬質量 2.3t

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0083

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0076 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0084

通水試験
管径：800mm以下

SQ400
給水車で注水する

單第0 -0077 表

1 式 当り

[illegible]